クイック スタート ガイド

日本語

Prinergy Connect 3.0

731-00058C-JA 改訂 B

www.creo.com

Prinergy Connect 3.0

クイック スタート ガイド

creo™

著作権

Copyright © 2005 Creo Inc. All rights reserved.

Creo の書面による明示的な許可なくして、本マニュアルのすべてまたは一部を複製、頒布、出版、変更、または組み込むことはできません。本マニュアルの複製、頒布、出版、変更、または組み込みが許可されている場合は、著者帰属、商標凡例、または著作権表示を変更または削除することはできません。

Creo, Inc. の書面による明示的な許可なくして、電子的、機械的、複写、記録、またはその他のいかなる形式や方法でも、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、検索システムに格納、出版、商取引の開発を目的とした使用、または伝送することはできません。

本書は、Adobe Systems Incorporated の PDF（Portable Document Format）形式によっても頒布されています。お客様は、社内使用を目的として PDF ファイルから本書を複製することができます。PDF ファイルからコピーを作成する場合は、本書全体を複製する必要があります。

商標

Creo 文字商標、Creo ロゴ、および本マニュアルで参照されている Creo の製品とサービスの名前は、Creo, Inc. の商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Illustrator、Distiller、Photoshop、PostScript、および PageMaker は、Adobe Systems, Inc. の商標です。

Apple、iMac、Power Macintosh、AppleShare、AppleTalk、TrueType、ImageWriter および LaserWriter は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。Macintosh は Apple Computer, Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

PANTONE、Hexachrome、PANTONE Hexachrome、および PANTONE MATCHING SYSTEM の所有権は、Pantone, Inc. に帰属します。

PEARL、PEARLsetter、PEARLhdp、PEARLdry、および PEARLgold は、Presstek, Inc. の登録商標です。

XEROX®、The Document Company®、および digital X® は、XEROX CORPORATION の登録商標です。

その他の銘柄または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

FCC 準拠

本マニュアルで参照されている Creo 装置は、クラス A コンピューティング デバイスに対する FCC 規定のパート 15 の必要条件に準拠しています。住宅地域における Creo 装置の運用によってラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が引き起こされる可能性があり、そのような場合は、お客様がご自分で干渉を除去する必要があります。

責任の制限

製品、ソフトウェア、またはサービスは、「現状有姿」および「利用可能な状態」で提供されています。お客様の契約書に明白に記述されている場合を除いては、Creo, Inc. は、商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を明示であると黙示であるとを問わず、一切負うものではありません。Creo Inc. は以下から生じた直接的、非直接的、付随的、特殊的、間接的、または懲罰的な損害（損害にはこれらすべてを含みますが、それだけに限りません）、利益の損失、業務上の信用、使用、データ、または無形資産の損失については一切責任を負わないことに、お客様は理解して同意されたものとします。(i) 製品またはソフトウェアの使用またはその能力の欠如、(ii) 購入された製品、商品、データ、ソフトウェア、情報、またはサービスから生じた代用の商品およびサービスの調達価格、(iii) 製品、ソフトウェア、またはデータの許諾されていないアクセスまたは変更、(iv) 第三者の声明または行為、(v) 製品、ソフトウェア、またサービスに関連するその他のいかなる事項。

本マニュアルのテキストおよび図は、説明および参照を目的として提供されています。これらが基づいている仕様は変更される可能性があります。本マニュアルの内容は、予告なしに変更されることがあります。Creo, Inc. または Creo, Inc. の子会社は、本マニュアルにおける技術上または編集上の誤りまたは脱漏の責任は一切負いません。また、付随的、間接的、非直接的、または特殊的な損害（本マニュアルの使用から生じた使用喪失、データの損失または変更、遅延、あるいは利益または貯蓄の損失を含みますが、それだけに限りません）についても一切責任を負いません。

特許

本製品は、以下の米国特許のうちの 1 つまたは複数を対象としています。

RE37,376	5,412,737	5,699,174	6,014,471	6,189,452	6,396,422	6,579,660
D478,608	5,420,702	5,699,740	6,016,752	6,191,882	6,407,849	6,587,211
4,558,302	5,420,722	5,708,736	6,043,865	6,204,874	6,409,331	6,589,710
4,743,091	5,459,505	5,713,287	6,060,208	6,205,364	6,414,755	6,590,635
4,992,864	5,473,733	5,742,743	6,063,528	6,208,369	6,422,801	6,593,064
5,049,901	5,481,379	5,764,374	6,063,546	6,214,276	6,425,565	6,601,888
5,113,249	5,488,906	5,771,794	6,072,518	6,217,965	6,430,136	6,605,407
5,132,723	5,508,828	5,785,309	6,090,529	6,252,241	6,435,091	6,609,459
5,155,782	5,509,561	5,802,034	6,093,447	6,252,522	6,441,914	6,611,363
5,157,516	5,517,359	5,813,346	6,096,461	6,255,033	6,443,571	6,618,187
5,177,724	5,519,852	5,818,498	6,098,544	6,260,482	6,450,092	6,628,435
5,208,818	5,576,754	5,854,883	6,107,011	6,266,080	6,456,396	6,632,584
5,208,888	5,579,115	5,861,904	6,112,663	6,266,134	6,471,335	6,637,329
5,247,174	5,583,551	5,861,992	6,115,056	6,267,054	6,476,342	6,637,860
5,249,067	5,592,309	5,875,288	6,116,160	6,268,948	6,476,931	6,640,713
5,283,140	5,594,556	5,894,342	6,121,996	6,270,204	6,477,955	6,641,772
5,291,273	5,600,448	5,900,981	6,130,702	6,283,589	6,493,064	6,641,978
5,305,091	5,608,822	5,934,196	6,134,393	6,295,076	6,494,965	6,646,669
5,323,248	5,615,282	5,946,426	6,136,509	6,299,572	6,503,691	6,648,468
5,325,217	5,625,397	5,947,028	6,137,580	6,318,266	6,509,903	6,652,088
5,339,176	5,625,766	5,958,647	6,147,789	6,328,408	6,511,163	6,654,147
5,343,059	5,636,330	5,966,504	6,158,345	6,336,708	6,520,084	6,660,997
5,355,446	5,649,220	5,969,872	6,159,659	6,340,817	6,530,317	6,661,561
5,359,451	5,650,076	5,973,801	6,164,637	6,352,816	6,541,181	6,665,048
5,359,458	5,652,804	5,986,819	6,165,658	6,353,216	6,544,336	6,665,121
5,367,360	5,680,129	5,995,475	6,180,325	6,366,339	6,545,772	6,670,986
5,384,648	5,691,823	5,996,499	6,181,362	6,371,026	6,550,388	6,684,783
5,384,899	5,691,828	5,998,067	6,181,439	6,377,739	6,564,018	6,704,123
5,412,491	5,696,393	6,003,442	6,186,068	6,387,597	6,567,713	

Creo, Inc.
3700 Gilmore Way
Burnaby, B.C., Canada
V5G 4M1
電話： +1.604.451.2700
FAX： +1.604.437.9891
http://www.creo.com
ドキュメント番号 731-00058C-JA 改訂 B
２００５年１２月改訂

目次

1 概要 1

このガイドの対象読者 2
詳細について 2
Prinergy Connect について 3
Prinergy Connect の主要機能 3
Prinergy 製品群 4
Adobe Acrobat のプラグインおよびその他のツール 5
構成：クライアントとサーバー 6

2 使用方法 9

Workshop の起動 10
ジョブ ファインダ 11
ジョブ マネージャー 12
プロセス テンプレートの使用 13
［プロセス テンプレート］ウインドウ枠 13
プロセスの開始 14
Workshop のカスタマイズ 15

3 ワークフロー概要 17

一般的なワークフロー 18
一般的なインポート／エクスポート ワークフロー 22
スポット カラーの処理（任意設定） 23
バージョニング ワークフロー 23

4 ジョブの設定 25

ジョブの設定 26
ジョブの作成 26
新規ジョブの作成 26
インポートによるジョブの作成 27
プリジョブの設定 28
ホット フォルダの設定 28
ジョブ属性とステータスの設定 30
カラーの編集 30
フォント処理 31
画像検索パスの追加 32

5 ファイルの追加と処理 33

顧客入力ファイルの追加 34
リファイン 35
リファイン時の留意点 36
リファイン プロセス テンプレート 36
リファイン時のカラー マネジメント 37

6 ページの割り当て 39

ページ セットおよび面付けの使用 40
ページ セットの追加 40
面付けプランの作成 41
ページ位置へのページ割り当て 43
ページ ジオメトリの設定 44

7 プルーフ、プレート、およびフィルム 45

プルーフ、プレート、およびフィルムの作成 46
単ページ プルーフの作成 46
出力時の留意点 47
分版 47
マーク 48
キャリブレーション 48
スクリーニング 49
面付けプルーフの作成 49
他のプルーフ方法 50
承認 51
ページに対する顧客の承認 51
プルーフの校了 52
プレートまたはフィルムの作成 52

8 ファイルの管理 53

ジョブのアーカイブ 54
アーカイブ情報の表示 55
ジョブの完了 55
ジョブの破棄 55
ジョブのエクスポート 55

9 ジョブの監視 57
アクティブなプロセスのチェック ... 58
［プロセス］ウィンドウ枠 ... 58
動的な列 ... 59
［処理情報］ダイアログ ボックス ... 59
処理状況のアイコン ... 60
ジョブおよびエレメントに関する情報を見る ... 60
キュー マネージャーの確認 ... 61
ジョブ履歴の確認 ... 61
システム履歴の確認 ... 62

A サポートされているファイル形式 63
入力ファイル形式 ... 64
出力ファイル形式 ... 65
面付けプラン ... 66

用語集 67

索引 73

1 概要

このガイドの対象読者 2

Prinergy Connect について 3

Prinergy 製品群 4

構成：クライアントとサーバー 6

このガイドの対象読者

本ガイドは、Prinergy Connect® software 3.0 を初めて使用するユーザーを対象としています。Prinergy Connect を説明し、システムを使用し始める際の参考として作成されました。

このガイドを使用するには次の知識が必要です。

- 製版工程に関する実用的な知識
- Windows® オペレーティング システムに関する知識
- Macintosh® オペレーティング システムに関する知識

このガイドは、以下を想定して記述されています。

- Creo システムのハードウェア、ソフトウェア、およびネットワーク コンポーネントがすべてインストールされ、構成されており、それらが正しく動作している。
- Creo システムに送信されるファイルは、プリフライトで解消できるような、不明フォントや PostScript® エラーなどの一般的な問題がない。

詳細について

マニュアル、トレーニング コース、ダウンロード、サービス、サポートについては、www.creo.com にアクセスしてください。



Prinergy Workshop の詳細については、Workshop オンライン ヘルプを参照してください。オンライン ヘルプでは、Prinergy Connect の機能、Prinergy Connect の作業手順、および Prinergy Connect のオプションについて説明します。

オンライン ヘルプにアクセスするには

- ダイアログ ボックスの［ヘルプ］アイコン をクリックします。
- ［**ヘルプ**］メニューから［**オンライン ヘルプ**］を選択します。



Prinergy システム管理ガイドでは、Prinergy システムの概要を提供し、システム設定とバックアップの方法について説明します。

Prinergy Connect について

Prinergy Connect は、PDF ベースのプリプレス ワークフローを提供し、プリプレスと製版工程を管理する管理ツールです。

Prinergy Connect は、商業印刷および出版物の印刷会社のための完全なワークフロー管理ソリューションです。ファイルのオプティマイズ、トラッピング、プルーフ、面付け、アーカイブ、ジョブ ステータスの追跡、およびフィルムやプレートの作成などの作業が自動化され、システムで包括的にプロセスを管理することにより生産性を向上することができます。

Prinergy Connect では、プリプレス オペレータが個別に、またはチームとして、受け取ったデータをデジタル画像として出力するための処理を行います。各ジョブの内容、繰り返す操作を自動化するツール、および製版プロセスを調整するためのステータス情報を提供し、オペレータの効率を高めます。

Prinergy Connect の主要機能

Prinergy Connect には次の機能が搭載されています。

- **マルチサーバー、マルチユーザー環境** — Prinergy Connect は、マルチサーバー、マルチユーザー環境を提供して処理量を増やします。Prinergy Connect ソフトウェアは、複数のコンピュータにインストールすることができ、複数ユーザーを想定したインターフェイスによって、各オペレータが複数のジョブ上で同時に作業することができます。
- **クロスプラットフォーム ソフトウェア** — Workshop は、オペレータがジョブを作成および実行するときに使用するソフトウェアで、Macintosh および Windows コンピュータの両方で実行します。
- **繰り返しプロセスの自動化** — Prinergy Connect では、設定を保存することによって繰り返しプロセスを自動化できます。この処理によって時間が節約され、エラーが減少します。
- **確実なワークフロー** — Prinergy Connect は、PDF に基づいた信頼性のある、予測可能なワークフローを提供します。
- **ページ ベース ワークフロー** — ページ ベースでワークフローを行うことにより、Prinergy Connect では、ジョブ全体を再構築することなく、個々のページを管理および修正できます。面付けレイアウトからページが独立しているので、最終段階でのページ割り当ての変更にも対応できます。

- **効率的なトラブル シューティング** — Prinergy Connect では、エラーの原因となるジョブ エレメントを特定できるデータベースを使用し、より効率的にトラブルシューティングを行うことができます。
- **高速トラッピング** — Prinergy Connect のベクター ベースのトラッパーは、ラスター ベースのトラッパーより非常に高速です。
- **拡張性のあるアーキテクチャ** — Prinergy Connect の拡張性のあるアーキテクチャにより、製版工程の拡大に伴ってシステムを拡張できます。



注意：ライセンスが必要な機能については、まずライセンスをご購入いただき、Prinergy Connect の機能を有効にする必要があります。詳細については、担当営業までお問い合わせください。

Prinergy 製品群

Prinergy Connect は、以下の Prinergy® 製品群の一部です。

Prinergy Connect — ページ処理、面付け、フィルムまたは版作成を必要とする商業印刷と出版用の仕様がすべて装備された Prinergy システムです。

Prinergy Direct® — 面付けされた入力ファイルを受け取り、さまざまなプルーファおよび出力デバイスに出力する Prinergy システムです。このシステムでは、複数拠点を持つ印刷会社の遠隔での出力作業、または既に面付け工程が確立されている印刷会社のために経済的なソリューションを提供します。

Prinergy Powerpack® — オフセット印刷、フレキソ印刷、およびグラビア印刷パッケージ プリンタ用に設計された Prinergy システムです。

Director — 別のワークフロー プロセッサ、Brisque® のジョブおよびファイルを管理する Prinergy システムです。

Prinergy Publish — ページ準備用に構成された Prinergy システムです。Prinergy Publish では Prinergy システムなど、製版の後工程で使用するワークフロー用の形式に入力ファイルを変換します。

関連製品

Synapse® InSite — ユーザー（印刷会社）および顧客（印刷物の発注者）がインターネットで印刷 ジョブの作業をするための Web ポータル。

Synapse Link — プリプレス ワークフロー システムと経営情報システム（MIS）間のプロダクション データの交換を自動化するソフトウェアです。

Preps® — 商業印刷業用面付けソフトウェアです。

Pandora® — パッケージ レイアウトを作成するステップ&リピートのソフトウェアです。

Adobe Acrobat のプラグインおよびその他のツール

Prinergy Connect には、以下の Adobe® Acrobat のプラグインおよびその他のツールがあります。

PDF Compare — 同じドキュメントの 2 つのバージョン間で元のページと変更されたページの違いを表示できます。

PDF Merge — トラップやスクリーンなどの共通オブジェクトを保存しながら、同じドキュメントの異なるバージョンに固有の内容を新しい出力ドキュメントにマージできます。

Creo PDF Trapper — ベクター ベースのトラッパーで、以下のバージョンが用意されています。

- **Trap Viwer** — 既にリファインされ、トラップされた PDF ページで選択したトラップやオブジェクトの設定を Adobe Acrobat でチェックします。すべてのトラップを削除することもできます。
- **Trap Editor** — Acrobat 上で、リファインまたはトラップされたページの全体または選択したオブジェクトをトラップ、既存のトラップを編集、およびトラップの追加を行うことができます。Trap Viewer の機能を含みます。
- **Advanced Trap Editor** — Acrobat 上で、リファインまたはトラップされたページのトラップ ジオメトリを設定し、Keepaway トラップを作成することができます。Trap Viewer および Trap Editor の機能を含みます。主にパッケージ プリンタで使用される高度な機能を含みます。

Prinergy Separation Viewer — PDF ファイルの色版を表示します。

Prinergy DotShop™ — PDF ファイルのハーフトーン スクリーニングを表示、選択、および編集することができます。

Prinergy Geometry Editor — ページのトリミング サイズを視覚的に設定できます。

Prinergy Separation Repair — リファイン時に誤ってグループ化された色版を再グループ化できます。

Prinergy View Accelerator — 低解像度（代替）の画像を使用して、PDF の表示を加速します。

Creo Distiller Assistant — Acrobat Distiller ユーザーは、PDF ファイル内でオプションを設定できます。

Creo Color TIFF XT — PostScript 3™ 技術を使用してカラー化された TIFF のバックグラウンドの問題を解決します。XT は、QuarkXPress® バージョン 4 および 5 にのみ必要で、バージョン 6 では必要ありません。

プラグインを起動するには

- **Acrobat** ツールバーからプラグイン アイコンを選択します。



プラグインの使用方法の詳細については、Acrobat の［**ヘルプ**］メニューから［**プラグインのヘルプ**］を選択し、使用するプラグインのヘルプを選択してください。

構成：クライアントとサーバー

Prinergy Connect システムには、複数のサーバーおよびクライアントがあります。

クライアント

クライアント ソフトウェアは、Workshop と呼ばれます。これは Prinergy Connect システムに対するメイン ユーザー インターフェイスです。このアプリケーションを使用してジョブを作成、編集、および監視します。

クライアント コンピュータは、Workshop を実行するコンピュータです。Prinergy Connect システムには、クライアント コンピュータがあり、複数のクライアント コンピュータがシステムに同時にアクセスできます。

サーバー

サーバー ソフトウェアは、Prinergy サーバーと呼ばれます。Workshop からの要求に対応し、ジョブ情報を保存する Oracle® データベースを管理します。



Prinergy サーバーに関する詳細については、「Prinergy システム管理ガイド」を参照してください。

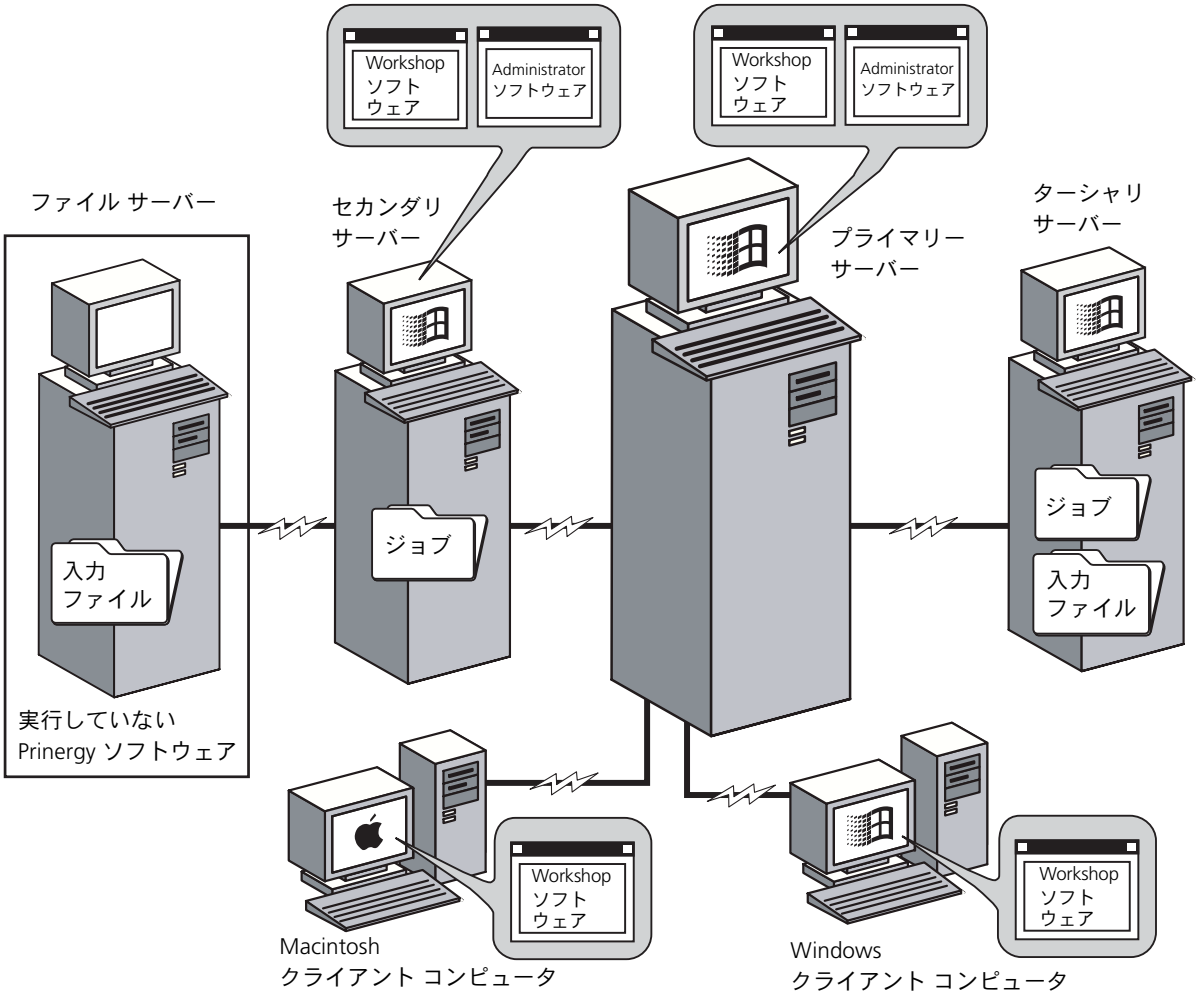
Prinergy Connect システムには、以下のサーバーの種類があります。

- **プライマリ サーバー** — Prinergy Connect システムのメイン サーバーです。ジョブ ファイル情報データベースなどのすべての Prinergy サーバー コンポーネントを含みます。システムに、プライマリ サーバーは 1 台だけです。
- **セカンダリ サーバー** — Prinergy サーバー ソフトウェアを実行しますが、データベースを持たないサーバーです。
- **レンダー ステーション** — 出力デバイスに接続され、出力ファイルのレンダリングのみに使用するように指定されています。
- **ターシャリ サーバー** — Prinergy Connect ネットワークの一部ですが、Prinergy サーバー ソフトウェア コンポーネントを実行しないサーバーです。このサーバーは、ジョブや入力ファイルを保存するために使用できます。
- **ファイル サーバー** — 入力ファイルを保存しますが、Prinergy Connect ソフトウェア コンポーネントの実行や、Prinergy Connect ジョブ フォルダの保存はしないサーバーです。Prinergy Connect システムで認識できるどのコンピュータでも使用できます。

クライアントとサーバーの交信

クライアント／サーバー システムでは、プロセスを実行するために、クライアント コンピュータとサーバー コンピュータが共に作動します。クライアント／サーバーの組み合わせにより、最大処理能力が増し、さらに効率的に使用することができます。

クライアント ソフトウェアは、サーバー ソフトウェアに要求を送信します。要求が送信されると、要求されたサービスが開始され、その後、関連情報がクライアント サーバーに返信されます。


Workshop ソフトウェア
Administrator ソフトウェア
Workshop ソフトウェア
Administrator ソフトウェア
ファイル サーバー
セカンダリ サーバー
プライマリー サーバー
ターシャリ サーバー
入力 ファイル
ジョブ
ジョブ
入力 ファイル
実行していない Prinergy ソフトウェア
Workshop ソフトウェア
Workshop ソフトウェア
Macintosh クライアント コンピュータ
Windows クライアント コンピュータ

2

使用方法

Workshop の起動 10
ジョブ ファインダ 11
ジョブ マネージャー 12
プロセス テンプレートの使用 13
Workshop のカスタマイズ 15

Workshop の起動



Workshop を起動するには

1. クライアント デスクトップ上にある［Workshop］アイコンをダブルクリックします。

   ［サーバーに接続］ダイアログ ボックスが表示されます。

2. 複数のサーバーがある場合は、［**サーバー**］リストで、プライマリ サーバーを選択します。

   ［**サーバー**］リストにサーバーが表示されない場合は、サーバーが別の Windows サブネットに存在する可能性があります。この場合は、［**その他**］を選択します。［ホスト名の入力］ダイアログ ボックスで、サーバー名を入力し、［**OK**］をクリックします。

   Prinergy Connect は、サーバー ソフトウェアとクライアント ソフトウェアのバージョンを比較します。バージョンによって、左下に、［**更新不要**］または［**更新**］ボタンのいずれかが表示されます。

   Workshop のバージョンと**サーバーのバージョン**が同じ場合でも、**Adobe Acrobat** への Creo プラグインが古い場合は、［**更新**］ボタンが使用可能になります。

3. ［**更新**］が使用できる場合は、Workshop を更新するかどうか判断します。詳細は、Workshop のオンライン ヘルプを参照してください。

4. ［**ユーザー名**］ボックスに、ユーザー名を入力します。

5. ［**パスワード**］ボックスに、パスワードを入力します。

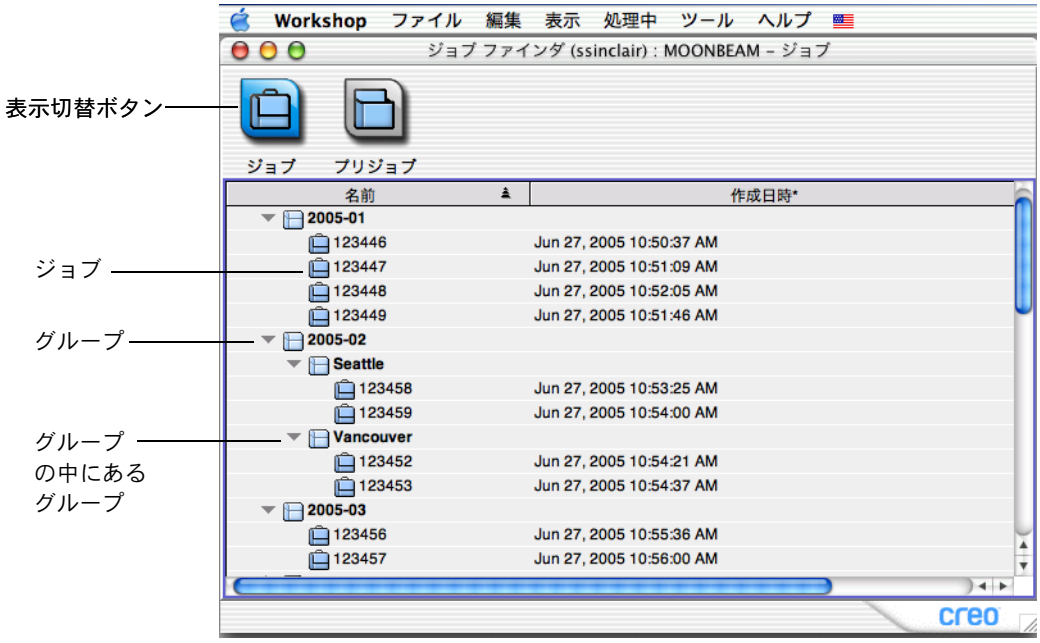
6. システムが Synapse Link に接続され、Workshop を再起動せずに現在のユーザー ID を変更する場合は、［**ユーザーの切り替えを有効にする**］を選択します。

7. ［**ログイン**］をクリックします。

   ［ジョブ ファインダ］が表示されます。これで、Workshop を使用する準備ができました。

ジョブ ファインダ

［ジョブ ファインダ］は、Workshop を起動すると表示される最初のウィンドウです。

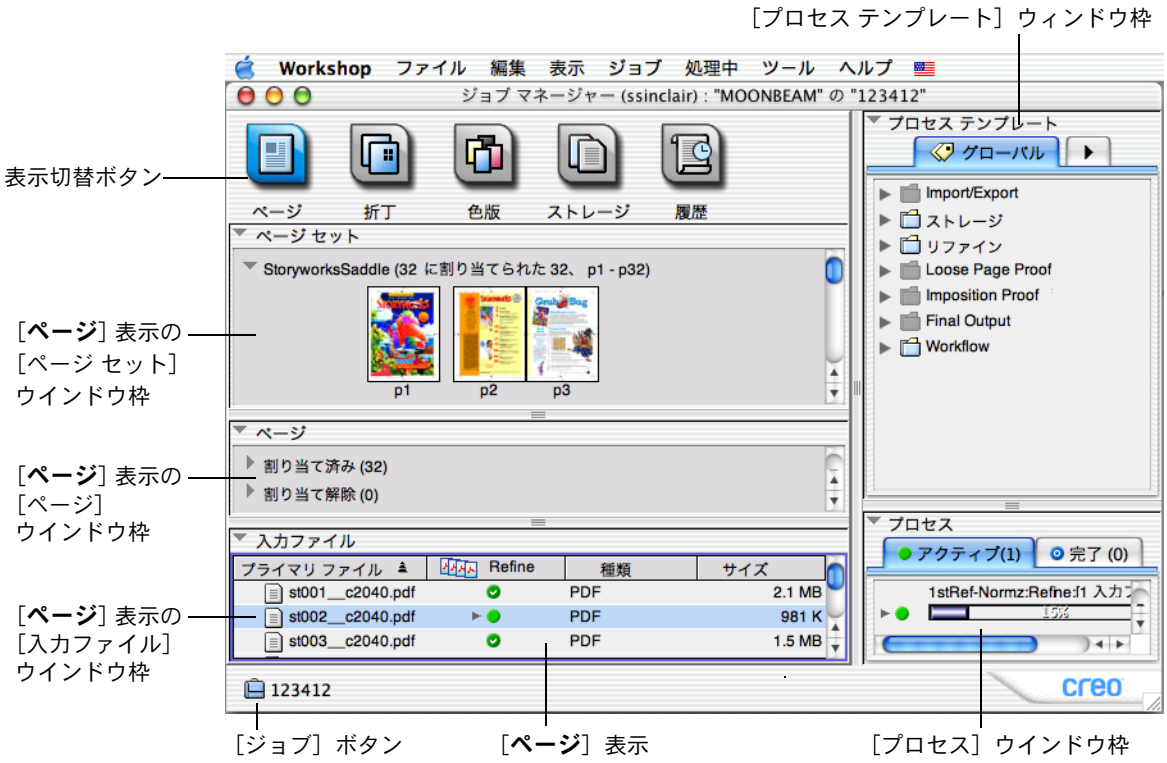


［ジョブ ファインダ］は、ジョブを作成、開く、およびグループ化して整理する場合に使用します。

ジョブ ファインダには、［**ジョブ**］表示と［**プリジョブ**］表示の 2 つの表示があります。プリジョブは、ジョブと類似していますが、エクスポートされたジョブの処理に使用されるか、または複数のジョブで使用されるエレメントを保存するテンプレートとして使用されます。28 ページの「プリジョブの設定」を参照してください。

ジョブ マネージャー

ジョブ ファインダのジョブをダブルクリックするとジョブ マネージャーが開きます。



ジョブ マネージャーは、ジョブを操作する場所です。［ジョブ マネージャー］の上のボタンを使用して、以下の表示のいずれか 1 つを選択できます。

ページ — 入力ファイル、リファイン済みページ、およびページ セットについての情報を表示します。顧客ファイルの追加、面付けプランのインポート、入力ファイルのリファイン、ページのページ セットへの割り当て、および単ページ プルーフの作成ができます。

折丁 — 入力ファイル、リファイン済みページ、および面付けプランについての情報を表示します。折丁の表示および管理、面付けプルーフの作成、および最終出力の作成ができます。

色版 — ジョブ内の色版ごとの情報を表示します。色版の表示、プルーフの作成、および最終出力の作成ができます。

ストレージ — ジョブでアーカイブされたすべてのファイルを一覧表示します。ジョブ ファイルのストレージ ステータスを確認して、アーカイブ、パージまたは読み込みができます。

履歴 — ジョブの詳しい履歴を表示します。

プロセス テンプレートの使用

プロセス テンプレートは Prinergy Connect にプロセスの実行方法を伝える、オプションおよび設定が含まれるファイルです。プロセス テンプレートは繰り返しの多い作業を自動化します。設定はあらかじめ定義されているため、プロセス テンプレートを使用すると一貫した結果を得ることができます。

プロセス テンプレートには、以下が含まれます。

- リファイン
- 単ページ プルーフ（出力）
- 面付けプルーフ（出力）
- 最終出力
- インポート
- エクスポート
- アーカイブ、パージ、および読み込み（別途ライセンスが必要です）

[プロセス テンプレート] ウインドウ枠

プロセス テンプレートはすべて、［ジョブ マネージャー］の［プロセス テンプレート］ウインドウ枠に一覧表示されます。

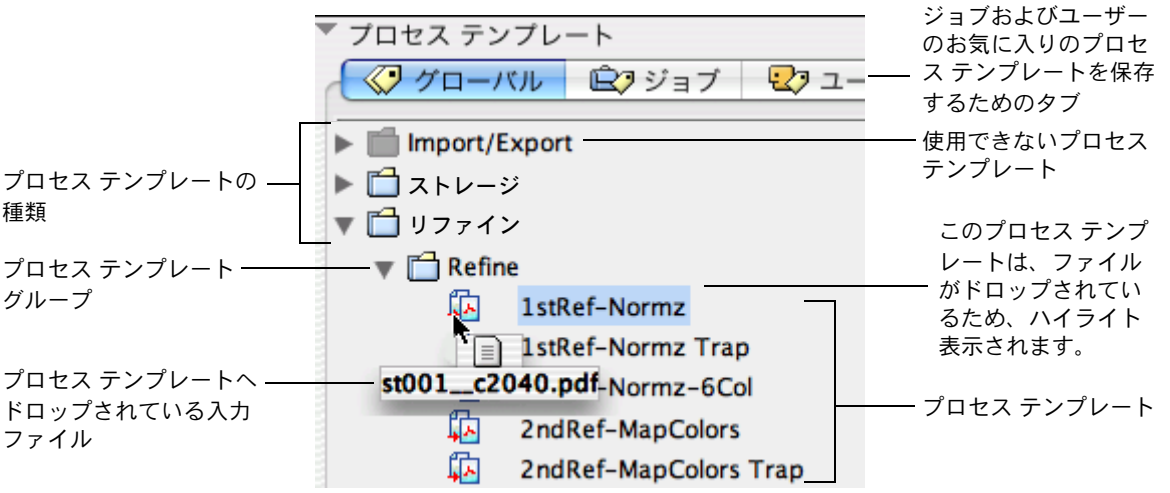
Prinergy Connect サーバーにある Prinergy システムには多くのプロセス テンプレートがあります。各プロセス テンプレートは特定の条件に応じてカスタマイズされています。お気に入りのプロセス テンプレートに迅速にアクセスするため、そのプロセス テンプレートを［プロセス テンプレート］ウインドウ枠の［ジョブ］タブまたは［ユーザー］タブへ追加します。16 ページの「ジョブおよびユーザーのお気に入りの設定」を参照してください。

プロセス テンプレートの使用

プロセス テンプレートは、プロセス テンプレートを実行できるエレメントを選択したときのみ使用できます。

何も選択されていないと、プロセス テンプレートは使用できません。プロセス テンプレートはグレー表示され、そのプロセス テンプレートをエレメントに適用して開始することができません。たとえば、ジョブを最初に開いたときに使用できるプロセス テンプレートはありません。

エレメントを選択すると、エレメントに適したプロセス テンプレートが使用できます。プロセス テンプレートがカラー表示され、選択したエレメントでそのプロセス テンプレートを開始できます。たとえば折丁を選択すると、面付けプルーフ プロセス テンプレートを使用することができます。



プロセスの開始

Workshop の最も一般的な操作の 1 つが、プロセスの開始です。どのエレメントも、いずれかのプロセスを実行できます。たとえば、入力ファイルのリファイン、プルーフの作成、フィルムまたはプレートの作成、およびジョブ ファイルのアーカイブを実行します。

通常、処理するエレメント、次に処理するプロセス テンプレートを選択して、プロセスを開始します。たとえば、入力ファイルをリファイン プロセス テンプレートにドラッグします。

［プロセス テンプレート］ウインドウ枠には、ワークフロー テンプレートも含まれています。ルール ベースの自動処理を使用している場合は、［プロセス テンプレート］ウインドウ枠にルール セットも表示されます。

プロセスを開始するには

1. ファイルを選択します。
2. 選択したファイルを［プロセス テンプレート］ウインドウ枠にドラッグして、プロセス テンプレートにドロップします。



ヒント： また、選択したファイルを右クリックしてメニューを表示し、プロセス テンプレートを選択します。または［プロセス テンプレート］ウインドウ枠のプロセス テンプレートを右クリックして、［**処理を開始**］を選択します。

3. ［プロセスの開始］ダイアログ ボックスで、必要に応じてオプションを編集します。

   必要に応じて、［**プロセス テンプレートの編集**］をクリックしてプロセス テンプレートを修正し、［**OK**］をクリックして、プロセスを開始する前にプロセス テンプレートを修正します。

4. ［**OK**］をクリックして、処理を開始します。

Workshop のカスタマイズ

Workshop および表示する情報をカスタマイズできます。

Workshop 環境設定

［Workshop 環境設定］ダイアログ ボックスのオプションを変更することによって、Workshop での情報の表示方法を制御できます。

Workshop は、ログオン ID ごとにワークステーションに環境設定ファイルを保存するため、他のオペレータとワークステーションを共有している場合でも個々の環境設定が維持されます。複数のワークステーションを使用する場合は、固有の環境設定ファイルは各ワークステーションに保存されます。

［Workshop 環境設定］ダイアログ ボックスを開くには、［**編集**］>［**環境設定**］を選択します。

一覧またはサムネイルでの表示

［**ページ**］または［**折丁**］表示で、一覧またはサムネイルでページを表示できます。

サムネイルはリファインされた低解像度の RGB 画像です。サムネイルで表示すると、ページ セットまたは面付けプランへのページの割り当ておよび解除が簡単にできます。

操作に慣れると、一覧表示の方が操作しやすい場合もあります。

表示を切り替えるには、［**表示**］メニューから、［**サムネイル表示**］または［**一覧表示**］を選択します。

列の表示および非表示

［**表示項目**］ダイアログ ボックスで、ジョブ ファインダまたはジョブ マネージャーの各のウインドウ枠に表示する列を選択できます。

列を表示または非表示するには、［**表示**］>［**表示項目**］を選択します。

Prinergy Connect 処理を実行する場合、処理に関する情報のある列が自動的に挿入されます。61 ページの「キュー マネージャーの確認」を参照してください。

異なる条件で一覧を並べ替える

特定の項目を基準に一覧を並べ替えるには、その列のタイトルをクリックします。

たとえば、［**リファインされた日付**］列のタイトルをクリックして、ファイルがリファインされた日付ごとに並べ替えます。

三角形をクリックして一覧を表示または非表示

一覧を表示するには、右向きの三角形 ▷ をクリックします。一覧を非表示にするには、下向きの三角形 ▽ をクリックします。

ジョブおよびユーザーのお気に入りの設定

よく使用するプロセステンプレートを［プロセス テンプレート］ウインドウ枠の［**ジョブ**］および［**ユーザー**］タブへ配置できます。［**ジョブ**］タブのプロセス テンプレートは、そのジョブを操作するユーザーなら誰でも使用できます。［**ユーザー**］タブのプロセス テンプレートは、そのユーザーならどのジョブでも使用できます。13 ページの「［プロセス テンプレート］ウインドウ枠」を参照してください。

プロセス テンプレートを［**ジョブ**］または［**ユーザー**］タブへ追加するには、［**ジョブ**］メニューから［**ジョブ／ユーザーのお気に入りの設定**］を選択します。

3

ワークフロー概要

一般的なワークフロー 18
一般的なインポート／エクスポート ワークフロー 22
スポット カラーの処理（任意設定） 23
バージョニング ワークフロー 23

一般的なワークフロー

このセクションでは、Prinergy Connect のジョブの一般的なワークフローについて説明します。

ジョブの設定

1. ジョブを作成します。

   26 ページの「ジョブの作成」を参照してください。

   そのジョブの新しい［ジョブ マネージャー］ウィンドウが開きます。［ジョブ ファインダ］の指定したジョブ グループ内にジョブが表示されます。操作は［**履歴**］表示および［システム履歴］で確認できます。

2. ジョブを準備します。

   30 ページの「ジョブ属性とステータスの設定」、30 ページの「カラーの編集」、31 ページの「フォント処理」、および 32 ページの「画像検索パスの追加」を参照してください。

入力ファイルの処理

3. 入力ファイルをジョブに追加します。

   34 ページの「顧客入力ファイルの追加」を参照してください。

   ［入力ファイル］ウインドウ枠に入力ファイルが表示されます。

4. 入力ファイルを独立した PDF ページにリファインします。

   35 ページの「リファイン」を参照してください。

   ［ページ］ウインドウ枠のリファイン済みのページを確認します。［**履歴**］表示で操作を確認することもできます。

5. 必要に応じて、スポット カラーを処理します。

   37 ページの「リファイン時のカラー マネジメント」を参照してください。

ページ プルーフ

6. ページのプルーフを作成します。プルーフには、ソフト プルーフ（コンピュータの画面上に表示）とハード プルーフ（プリント アウト）があります。

   46 ページの「単ページ プルーフの作成」を参照してください。

   プルーフを確認します。[**履歴**]表示で操作を確認することもできます。

7. ページを校了にします。

   51 ページの「承認」を参照してください。

面付け

8. 面付けを作成またはインポートし、必要に応じてページを割り当てます。

   41 ページの「面付けプランの作成」および 43 ページの「ページ位置へのページ割り当て」を参照してください。

   ［面付けプラン］ウインドウ枠の面付けプランを確認します。面付けにページ位置が割り当てられている場合、ジョブのページがその位置に自動的に割り当てられます。［**履歴**］表示で操作を確認することもできます。

9. ページ ジオメトリを設定します。

   44 ページの「ページ ジオメトリの設定」を参照してください。

10. 面付けプルーフの作成に備えて設定を調整します。

    47 ページの「出力時の留意点」を参照してください。

11. 面付けプルーフを作成します。プルーフには、ソフト プルーフ（コンピュータの画面上に表示）とハード プルーフ（プリント アウト）があります。

    48 ページの「キャリブレーション」を参照してください。

    プルーフを確認します。[**履歴**]表示で操作を確認することもできます。

12. プルーフを校了にします。

    51 ページの「承認」を参照してください。

フィルムまたはプレート作成

13. 最終出力の作成に備えて設定を調整します。

    47 ページの「出力時の留意点」を参照してください。

14. プレートまたはフィルムに出力します。

    52 ページの「プレートまたはフィルムの作成」を参照してください。

    プレートまたはフィルムがデバイスから出力されます。［**履歴**］表示で操作を確認することもできます。

アーカイブ

15. ジョブをアーカイブします。

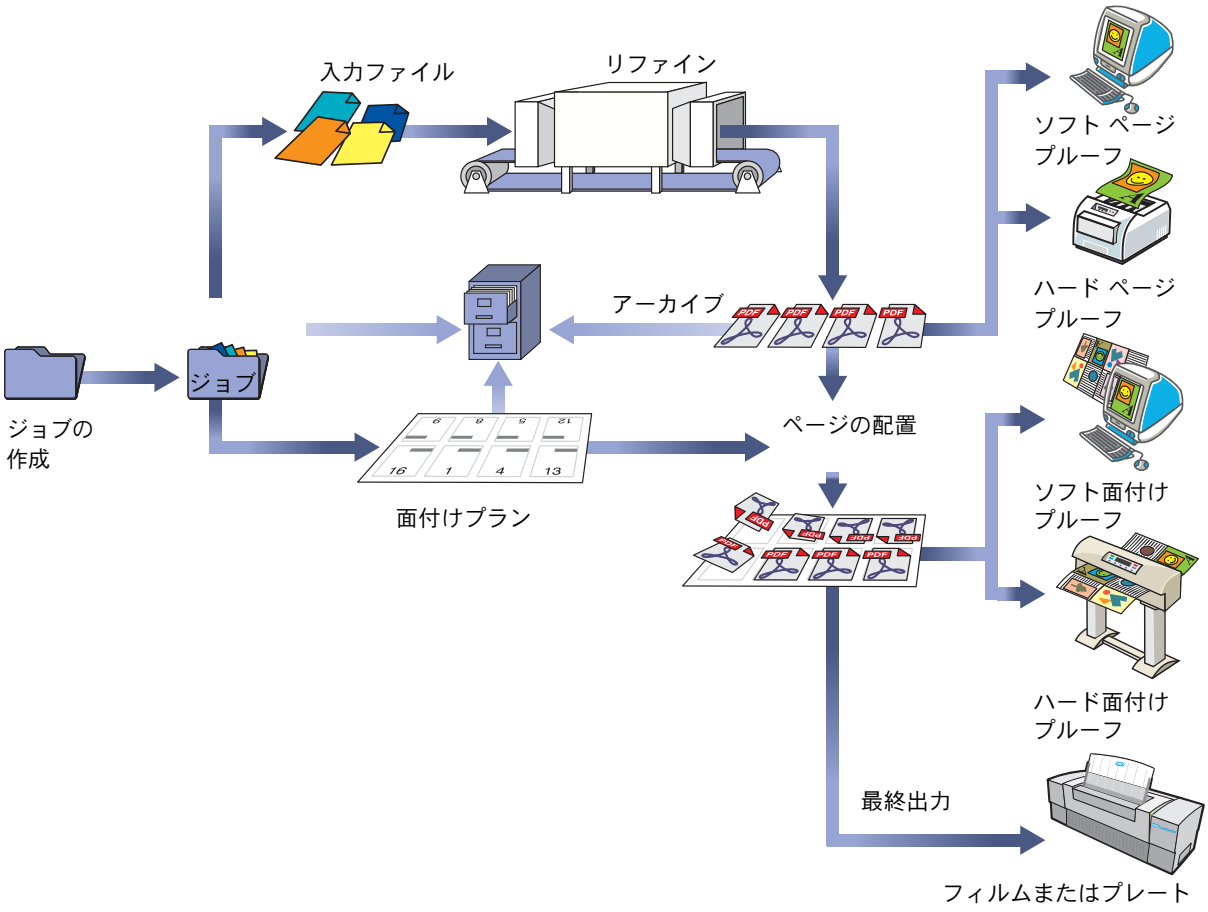
    54 ページの「ジョブのアーカイブ」を参照してください。

    ［ジョブ ファインダ］および［**ストレージ**］表示のジョブのステータスが変わります。［**履歴**］表示および［システム履歴］で操作を確認することもできます。

16. ジョブをパージして、その分のディスク領域を開放します。

    54 ページの「ジョブのアーカイブ」を参照してください。

    ［ジョブ ファインダ］および［**ストレージ**］表示のジョブのステータスが変わります。［**履歴**］表示および［システム履歴］で操作を確認することもできます。


入力ファイル
リファイン
ソフト ページ
プルーフ
ハード ページ
プルーフ
アーカイブ
ジョブ
ジョブの
作成
ページの配置
面付けプラン
ソフト面付け
プルーフ
ハード面付け
プルーフ
最終出力
フィルムまたはプレート

一般的なインポート／エクスポート ワークフロー

インポート／エクスポート ワークフローでは、システムで出力するジョブを別の Prinergy システムで設定します。

これは、ハブ＆スポーク ワークフローとも呼ばれます。通常、Prinergy Connect または Prinergy Powerpack が中心となる環境（ハブ）にあり、Prinergy Direct はスポークとして遠隔地にあります。

インポート／エクスポート ワークフローの手順は以下のとおりです。

1. 中央の Prinergy システムで、プルーフを作成する準備ができたワークステーションへジョブを設定します。

   第 4 章の「ジョブの設定」、第 5 章の「ファイルの追加と処理」、および第 6 章の「ページの割り当て」を参照してください。

2. プルーフを作成します。

   単ページおよび面付けのプルーフを作成できます。ソフト プルーフ（コンピュータの画面上に表示）またはハード プルーフ（プリント アウト）の両方を作成することができます。

   第 7 章の「プルーフ、プレート、およびフィルム」を参照してください。

3. ジョブをエクスポートし、.zip ファイルを遠隔の Prinergy システムへ送信します。

   55 ページの「ジョブのエクスポート」を参照してください。

4. 遠隔の Prinergy システムで .zip ファイルをインポートします。

   27 ページの「インポートによるジョブの作成」を参照してください。

5. プレートまたはフィルムに出力します。

   52 ページの「プレートまたはフィルムの作成」を参照してください。

6. ハブでジョブをアーカイブします。

   54 ページの「ジョブのアーカイブ」を参照してください。

スポット カラーの処理（任意設定）

入力ファイルにスポット カラーが含まれる場合、スポット カラーを出力する方法を設定する必要がある場合があります。

Prinergy Connect では以下を実行できます。

- スポット カラーを独立した版として出力する。
- スポット カラーをプロセス カラーに変換する。
- スポット カラーを他のスポット カラーと同じ版として出力する。
- スポット カラーを出力しない。

37 ページの「リファイン時のカラー マネジメント」を参照してください。

バージョニング ワークフロー

同じ出版物を複数の地域用に準備する場合、その内容を共通する部分と異なる部分とに版で分けることがあります。たとえば、地域が異なれば価格や住所の違いがあり、テキストが別の言語になる場合もあります。このタイプのジョブはバージョニング、ゾーン バージョニング、または店名差し替えと呼ばれます。

Prinergy Connect では、複数のバージョンを持つファイルを作成し、1 つのジョブとしてページを管理します。バージョニングでは、入力ファイルに基づいてさまざまな処理を行うことができます。



バージョニング ワークフローについては、「Prinergyバージョニング ワークフロー ユーザー ガイド」を参照してください。

4 ジョブの設定

ジョブの設定 26
ジョブの作成 26
ジョブ属性とステータスの設定 30
カラーの編集 30
フォント処理 31
画像検索パスの追加 32

ジョブの設定

ジョブを設定するには、以下の操作を実行します。

1. ジョブを作成します。

   26 ページの「ジョブの作成」および 28 ページの「プリジョブの設定」を参照してください。

2. ジョブの属性およびジョブのステータスを設定します。

   30 ページの「ジョブ属性とステータスの設定」を参照してください。

3. 必要に応じて、カラー情報を追加します。

   30 ページの「カラーの編集」を参照してください。

4. 必要に応じて、フォント検索パスを追加します。

   31 ページの「フォント処理」を参照してください。

5. 必要に応じて、画像検索パスを設定します。

   32 ページの「画像検索パスの追加」を参照してください。

ジョブの作成

出版物の作業を開始する際、ジョブを作成する必要があります。新しいジョブを作成するか、エクスポートしたジョブをインポートできます。

新規ジョブの作成

新しいジョブを作成するには

➢ ［ジョブ ファインダ］の［**ファイル**］メニューで、［**ジョブの新規作成**］を選択します。

テンプレート ジョブの使用

新規ジョブを作成する際、既存のジョブまたはプリジョブから設定情報をコピーできます。既存のジョブまたはプリジョブは、テンプレート ジョブと呼びます。

ホット フォルダや画像検索パスなど、さまざまな種類の設定情報をコピーできます。

テンプレート ジョブを使用するには

➢ ［ジョブの新規作成］ダイアログ ボックスで、［**オプション**］、［**テンプレート ジョブ**］を順に選択します。

インポートによるジョブの作成

既存のジョブを別の Prinergy Connect システムからインポートして、ジョブを作成できます。エクスポートは .zip ファイルです。インポート プロセス テンプレートが、インポートに関する設定を制御します。

手動でジョブを作成してインポートするか、プリジョブを使用してジョブを自動的に作成します。

ジョブを手動でインポート

ジョブを作成し、エクスポートされたジョブを手動でインポートするには、以下のいずれかを実行します。

- ［ジョブ ファインダ］の［**ファイル**］メニューで、［**ジョブのインポート**］を選択します。
- 新規ジョブを作成する場合は、［ジョブの新規作成］ダイアログ ボックスで、［**ジョブのインポート**］を選択します。

ホット フォルダを使用したジョブの自動インポート

Prinergy Connect は、エクスポート ファイルが特定のフォルダにドロップされるたびに、新規ジョブを自動的に作成します。

ジョブは、プリジョブがあるサーバーのルートに作成され、エクスポート ファイルと同じ名前が付けられます。

インポート用プリジョブを設定するには

1. プリジョブを作成します。28 ページの「プリジョブの設定」を参照してください。
2. プリジョブでホット フォルダを作成し、インポート プロセス テンプレートを使用してファイルを追加および処理するように設定します。28 ページの「ホット フォルダの設定」を参照してください。

ジョブを作成するには

➢ エクスポートされたジョブをホット フォルダにドロップします。

インポート（追加分）

ジョブの一部を既存のジョブに追加することもできます。ジョブの一部を追加するには、既存のジョブに ImportIncremental プロセス テンプレートに関連付けられた「追加して処理する」ホット フォルダを設定します。エクスポート ファイルをホット フォルダにドロップすると、Prinergy Connect はインポート ファイルをジョブに追加します。

また、エクスポートされたジョブ ファイルを既存ジョブに追加することもできます。[**ファイル**] メニューから [**ジョブのインポート**] を選択します。

プリジョブの設定

プリジョブはジョブと類似していますが、複数のジョブを使用するエレメントを保存する際に使用されます。

プリジョブは、以下のように使用すると便利です。

- エクスポートされたジョブをプリジョブ ホット フォルダにドロップして、自動的にジョブを作成する。26 ページの「ジョブの作成」を参照してください。
- ロゴなどの多くジョブで使用されるエレメントを収集する場所として使用する。26 ページの「テンプレート ジョブの使用」を参照してください。
- Synapse InSite を使用する顧客がファイルのアップロードに使用する。

プリジョブは、[ジョブ ファインダ] の [**プリジョブ**] 表示で表示されます。

プリジョブを作成するには

1. ［ジョブ ファインダ］で、［**プリジョブ**］をクリックします。
2. ［**ファイル**］メニューから［**プリジョブの新規作成**］を選択します。

ホット フォルダの設定

ホット フォルダは、ファイルがホット フォルダにドロップされると、自動的に操作を実行することによってワークフローを自動化します。

ファイルをジョブに追加するだけのホット フォルダ、およびファイルを追加して処理を開始するホット フォルダの 2 種類のホット フォルダを作成できます。

ファイルの処理を開始するホット フォルダには、ホット フォルダに関連付けられたプロセス テンプレートがあります。ファイルをホット フォルダに追加すると、Prinergy Connect はプロセス テンプレートの指定通り、ファイルを自動的に処理します。

ホット フォルダの一般的な使用方法は以下の通りです。

- エクスポートされたジョブのインポート。26 ページの「ジョブの作成」を参照してください。
- 入力ファイルの追加およびリファイン。34 ページの「顧客入力ファイルの追加」を参照してください。たとえば、入力ファイルを追加するだけのホット フォルダに、デスクトップ パブリッシング ソフトウェアから書き出した PostScript を直接ドロップすると、ファイルはホット フォルダが設定されているジョブに自動的に追加されます。

ジョブのホット フォルダを作成するには

1. ジョブを開きます。
2. ［**ジョブ**］メニューから［**ホット フォルダの設定**］を選択します。
3. ［ホット フォルダの設定］ダイアログ ボックスで、［**追加**］をクリックします。
4. ［ジョブに対するホット フォルダの作成］ダイアログ ボックスで、以下のオプションを選択します。
   - 入力ファイルを追加するだけのホット フォルダについては、［**入力ファイルの追加のみ**］を選択します。
   - ファイルを追加して処理するホット フォルダについては、［**ファイルの処理**］を選択します。
5. ファイルを追加して処理するホット フォルダを作成する場合は、ホット フォルダに関連付けるプロセス テンプレートを探して選択します。
6. 必要に応じて名前を変更します。
7. ［**OK**］をクリックします。
8. ［**閉じる**］をクリックします。

ファイル ブラウザでジョブ フォルダを参照して、ホット フォルダが作成されていることを確認できます。

ジョブ属性とステータスの設定

Prinergy Connect はほとんどのジョブ情報を自動的に生成しますが、いくつかのジョブ属性を任意で定義することができます。ジョブ属性は、ジョブを作成する際、またはその後に［ジョブ ファインダ］で定義することができます。ジョブの属性には、以下が含まれます。

- 最大レイヤー（バージョニングで使用）
- プルーフの納期および最終出力の納期
- ジョブ コード
- 作成済みから完了までのジョブ ステータス
- Synapse InSite を使用する顧客へ Web 公開

ジョブの属性およびジョブのステータスを設定するには

➢ ［ジョブ ファインダ］の［**編集**］メニューで、［**ジョブ属性の編集**］を選択します。

カラーの編集

Prinergy Connect は、スポット カラーに関する情報を保存します。PANTONE® ファクトリライブラリは、Prinergy Connect の標準機能です。各ファクトリライブラリは、15,000 以上の PANTONE カラーのカラー定義で構成されています。

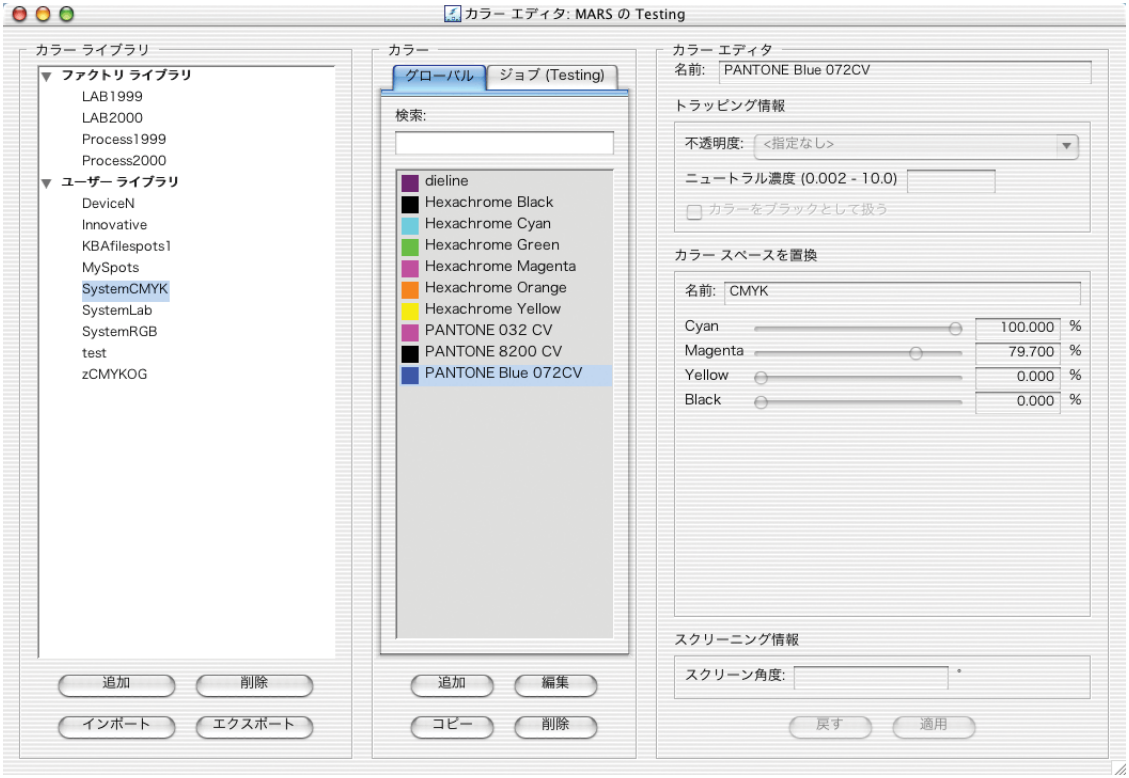
各カラー ライブラリは、RGB、CMYK、L*a*b などのカラー スペースに関連付けられており、カラー スペースは ICC プロファイルに関連付けられています。

ファイルを PrinergyPrinergy Connect に追加してリファインすると、Prinergy Connect で PANETONE カラー名を認識し、PANTONE ライブラリの PANETONE カラーと照合し、PANETONE ライブラリからカラー レシピを使用します。

全体または各ジョブで、Prinergy Connect の PANTONE カラーの定義を変更することができます。

カラーを追加するには

➢ ［**ツール**］メニューから、［**カラー エディタ**］を選択します。



フォント処理

フォントは、入力ファイルに組み込んでください。フォントが入力ファイルに埋め込まれていない場合、リファイン プロセスに必ずフォント情報を埋め込むようにします。埋め込むフォント情報は、フォント ベンダーが使用する標準フォーマットではない PFA 形式を使用する必要があります。

フォントが既に入力ファイルに埋め込まれている場合、または PFA 形式で Prinergy Connect に搭載されている基本 193 Adobe® 書体（欧文）のみを使用している場合は、フォント変換を使用する必要はありません。

上記以外の場合は、まずフォント変換を使用してフォントを PFA 形式に変換し、変換したフォントを Prinergy Connect に追加して、フォント検索パスを、Prinergy Connect ジョブに追加します。入力ファイルをリファインする前に実行してください。

フォント変換には、［**グローバル**］と［**ジョブ**］の 2 つのタブが含まれています。［**グローバル**］タブのフォントはホーム サーバー上に保存され、すべてのジョブに使用できます。［**ジョブ**］タブのフォントはジョブ フォルダに保存され、そのジョブでのみ使用できます。

フォント検索パスは、フォントの場所を指定します。フォント検索パスは、ジョブの新規作成時に既存のジョブからコピーできますが、後で［ジョブ マネージャー］から設定することも可能です。

フォントを変換するには

➢ ［**ツール**］メニューから［**フォント変換**］を選択します。

フォント検索パスを設定するには

➢ ［ジョブ マネージャー］の［**ジョブ**］メニューから、［**フォント検索パス**］を選択します。

画像検索パスの追加

OPI で低解像度の代わりに高解像度の画像を使用する場合は、Prinergy Connect が画像ファイルを検索できるように、ジョブに画像検索パスを入力する必要があります。

画像検索パスはジョブを作成する際に既存のジョブからコピーできますが、後で［ジョブ マネージャー］から設定することも可能です。画像検索パスは、入力ファイルのリファイン前に設定する必要があります。

画像検索パスを設定するには

➢ ［ジョブ マネージャー］の［**ジョブ**］メニューから、［**画像検索パス**］を選択します。

5

ファイルの追加と処理

顧客入力ファイルの追加 34
リファイン 35
リファイン時の留意点 36

顧客入力ファイルの追加

ジョブ作成後、Prinergy Connect が読み取れるサーバーまたはディスクから顧客ファイルを追加します。

注意：ジョブをインポートすると、入力ファイルを追加する必要はありません。

ファイルを追加するには、［**入力ファイルの追加**］メニュー アイテムで手動で追加する、またはホット フォルダを使用して自動で追加します。ファイル ブラウザから［ジョブ マネージャー］へファイルをドラッグして追加することはできません。

入力ファイルを追加したと同時に処理を開始するか、後で処理を行うかを選択できます。

入力ファイルを手動で追加するには

1. ［ジョブ マネージャー］の［**ファイル**］メニューから［**入力ファイルの追加**］を選択します。］を選択します。
2. 追加するファイルを探して選択します。
3. 入力ファイルを追加すると同時に処理する場合、［**次のプロセス テンプレートを使用して処理**］をオンにしてプロセス テンプレートを選択します。

ホット フォルダを使用して自動的に入力ファイルを追加するには

1. ジョブ用のホット フォルダを作成します。28 ページの「ホット フォルダの設定」を参照してください。
2. （任意設定）ホット フォルダを設定して、使用するプロセス テンプレートを選択します。
3. ファイル ブラウザを使用して、入力ファイルを元の場所から **<ジョブ フォルダ>\HotFolders** のホット フォルダへコピーまたはドラッグします。

   また、クリエイティブ ソフトウェアから入力ファイルを直接ホット フォルダに出力することもできます。

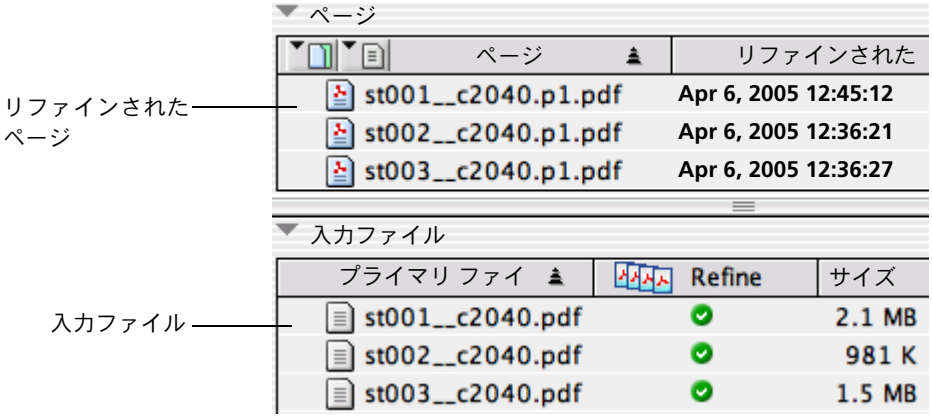
リファイン

リファイン プロセスを使用して、入力ファイルを、フォントが埋め込まれ、画像を含む独立した PDF ファイルに変換します。

通常、少なくとも 1 回はファイルをリファインしてノーマライズします。最初のリファインは、入力ファイルをジョブに追加すると同時に行うことも、ジョブに追加した後で行うこともできます。

以下の条件では、複数回、リファインする必要があります。

- ［ページ］ウインドウ枠で PDF ファイルを開き、Acrobat で変更した場合、ページをリファインする必要があります。
- 入力ファイルを作成したソフトウェアで編集した場合、入力ファイルを再度リファインする必要があります。これにより、［ページ］ウインドウ枠の該当する PDF ファイルが置き換わります。
- カラーの設定を変更する場合、［ページ］ウインドウ枠のページをリファインする必要があります。37 ページの「リファイン時のカラー マネジメント」を参照してください。



入力ファイルをリファインするには

1. ［入力ファイル］ウインドウ枠で、1 つまたは複数のファイルを選択します。
2. ファイルを［プロセス テンプレート］ウインドウ枠にドラッグして、リファイン プロセス テンプレートにドロップします。
3. ［プロセスの開始］ダイアログ ボックスで、［**OK**］をクリックします。

プロセス開始の詳細については、14 ページの「プロセスの開始」を参照してください。

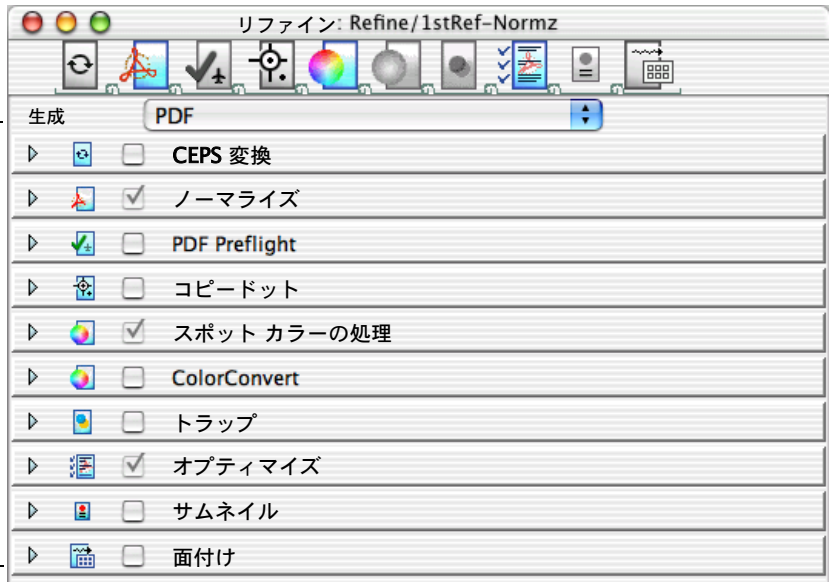
リファイン時の留意点

リファイン時は以下に留意してください。

- リファイン プロセス テンプレートのすべての設定を行う。
- ［カラー変換］ダイアログ ボックスを使用してカラー変換の指定を行う。

リファイン プロセス テンプレート

リファイン プロセス テンプレートでの設定によってリファインの動作が制御され、実行される処理段階が決まります。各手順には、リファイン プロセス テンプレートの各段階ごとに設定を行うセクションがあります。



リファイン プロセス テンプレートのセクション

リファイン プロセス テンプレートには、以下のセクションがあります。

- ［**CEPS 変換**］セクションは、Prinergy Connect が CT/LW および TIFF/IT-P1 の入力ファイルをどのように受け取って PDF ファイルを作成するかを定義します。
- ［**ノーマライズ**］セクションは、Prinergy Connect で処理できる PDF ファイルへの PostScript および EPS ファイルの変換を制御します。
- ［**PDF プリフライト**］セクションでは、エラー チェックに使用するプロファイルを選択し、エラーの処理方法を定義します。［PDF プリフライト］は、別途ライセンスが必要な機能です。

- ［**コピードット**］セクションは、Prinergy Connect がコピードット ファイルを処理する方法を定義します。コピードット ファイルを、たとえば出力デバイスの解像度に一致させるため、指定する解像度にリサンプルできます。
- ［**スポットカラーの処理**］セクションは、Prinergy Connect がスポット カラーをプロセス カラーに変換するかどうか、および Prinergy Connect がファイルに埋め込まれたカラー定義または特定のカラー ライブラリのカラー定義を使用するかどうかを定義します。
- ［**カラー変換**］セクションは、Prinergy Connect がオーバープリントを処理する方法、および ICC プロファイルを使用して入力カラー領域から出力カラー領域へカラー データを変換する方法を定義します。
- リファイン プロセス テンプレートの［**トラップ**］セクションは、Prinergy Connect による入力ファイルのトラッピング処理方法を決定します。Creo PDF Trap Viewer でトラップを表示し、Creo PDF Trap Editor でトラップを調整することができます。また、クリエイティブ ソフトウェアで直接トラップを調整することもできます。
- ［**オプティマイズ**］セクションは、Prinergy Connectが入力ファイルの高解像度画像をオプティマイズする方法および代替の低解像度画像を生成する方法を定義します。
- ［**サムネイル**］セクションは、Prinergy Connect がリファイン プロセス時にサムネイルを生成するかどうかを定義します。
- ［**面付け**］セクションは、Prinergy Connect が、リファイン プロセス後、面付けを自動的に処理する方法を定義します。

リファイン時のカラー マネジメント

最初のリファイン後、別のリファインを実行して、カラー マネジメントを行います。

別のリファインを実行するには、リファインされたページを選択し、［プロセスの開始］ダイアログ ボックスの［**カラー変換**］を選択します。

［カラー変換］ダイアログ ボックスでは、エイリアス カラー名の追加、カラーの割り当て、カラーの印刷順序の指定、およびジョブごとのカラー定義の追加または編集を行うことができます。入力ファイルに、スポット カラーがあり、そのカラーをすべて出力しない場合は、プロセス カラーに変換してスポット カラーを削除できます。

リファイン プロセス テンプレートの［**スポット カラーの処理**］セクションを使用して、スポット カラーを処理する方法を指定することもできます。

カラー情報を表示するには、［**ページ**］表示または［**色版**］表示の［ページ］ウインドウ枠に［**ページ カラー**］列を追加します。

6 ページの割り当て

ページ セットおよび面付けの使用 40
ページ セットの追加 40
面付けプランの作成 41
ページ位置へのページ割り当て 43
ページ ジオメトリの設定 44

ページ セットおよび面付けの使用

Prinergy Connect では、ページ内容と面付けを区別するため、面付けの設定は工程の後半で行うことができます。面付けを設定する前に、ジョブの作成、ジョブにページ内容のファイルを追加、ページ順序の決定、およびページ プルーフの作成が可能です。つまり、印刷の決定をする前にジョブを準備でき、最終出力の寸前に印刷に関する設定を変更できます。

また、ページ セットを使用して、ページ内容ファイルの 1 セットを複数の面付けプランに関連付けることができます。これにより、同じページ データを異なる面付けレイアウトで簡単に出力できます。このため、ページを再度割り当てる必要がなく、目的のデバイスに出力できます。たとえば、表紙をあるデバイスに送信し、本文を別のデバイスに出力できます。

ページ セットの追加

面付けプランが登録され、ページ セットに関連付ける前または後に、ページ セットのページ位置にページを割り当てます。ページ位置の割り当てに影響を与えずに面付けプランを変更できます。また、面付けに影響を与えずに、ページ位置の割り当てを変更したり、ページ セットのページ内容を置き換えることができます。1 ページを複数のページ位置に割り当てることができます。

Prinergy Connect は、面付けプランをインポートする際に自動的にページ セットを追加しますが、手動でページ セットを追加することもできます。

ページ セットが面付けプランから独立しているため、印刷に関する設定を最終段階で変更することができ、ジョブの異なる部分を異なるデバイスに出力することができます。

通常、異なる用紙に印刷する部分の折丁などには、別のページ セットを追加します。たとえば、出版物の表紙と本文のページに、異なるページ セットを追加することもできます。

ページ セットを追加するには

➢ ［ジョブ マネージャー］の［**ファイル**］メニューから［**ページ セットの追加**］を選択します。

面付けプランの作成

Preps または Pandora など、ファイルを Adobe Portable Job Ticket file（.jt）として保存できるソフトウェアで面付けを作成します。

面付けが Workshop にインポートされると、［ジョブ マネージャー］の［面付けプラン］ウインドウ枠に表示されます。面付けにページ情報が含まれている場合は、ページが割り当てられています。ページ情報が未設定の場合、割り当てを作成できます。43 ページの「ページ位置へのページ割り当て」を参照してください。

統合ソフトウェアによる面付けの作成

Preps は Prinergy Connect に統合することができ、Workshop から Preps を起動して、Preps で作成した面付けを Workshop に自動的にインポートすることができます。

Preps と Prinergy Connect の統合に関する詳細は、Preps 統合のマニュアルを参照してください。

統合された Preps ソフトウェアで面付けを作成するには

1. Workshop で、以下を実行します。
   a. ジョブを設定し、入力ファイルを追加してページをリファインします。

      第 4 章の「ジョブの設定」および第 5 章の「ファイルの追加と処理」を参照してください。

   b. ［**ファイル**］メニューから［**面付けの新規作成**］を選択します。
   c. ［面付けの新規作成］ダイアログ ボックスで、［**OK**］をクリックします。
   d. ［新規面付けの詳細］ダイアログ ボックスで、［**OK**］をクリックします。

      Preps が起動します。

2. Preps で、以下を実行します。
   a. 新しい面付けを作成します。

      Preps のマニュアルを参照してください。

   b. （任意設定）ページを割り当てます。
   c. 面付けを保存します。

      面付けが Workshop に自動的に表示されます。

面付けの作成および手動のインポート

Preps で面付けを作成し、Prinergy Connect へインポートします。

面付けを作成してインポートするには

1. Workshop でジョブを設定し、入力ファイルを追加してページをリファインします。

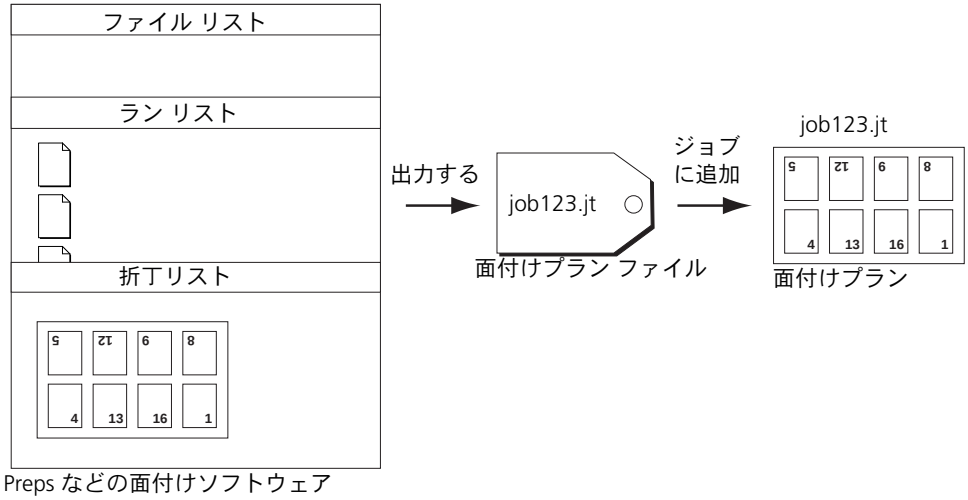
   第 4 章の「ジョブの設定」および第 5 章の「ファイルの追加と処理」を参照してください。

2. Preps または他の面付けソフトウェアで、以下を実行します。
   a. 新規面付けを作成します。

      面付けソフトウェアのマニュアルを参照してください。

   b. （任意設定）ページを割り当てます。
   c. 面付けを保存します。

3. Workshop で、以下のいずれかを実行します。
   - ジョブのホット フォルダを作成し、ホット フォルダをインポート プロセス テンプレートと関連付けます。ホット フォルダに面付けをドロップします。
   - ［**ファイル**］メニューから［**面付けのインポート**］を選択します。



ページ位置へのページ割り当て

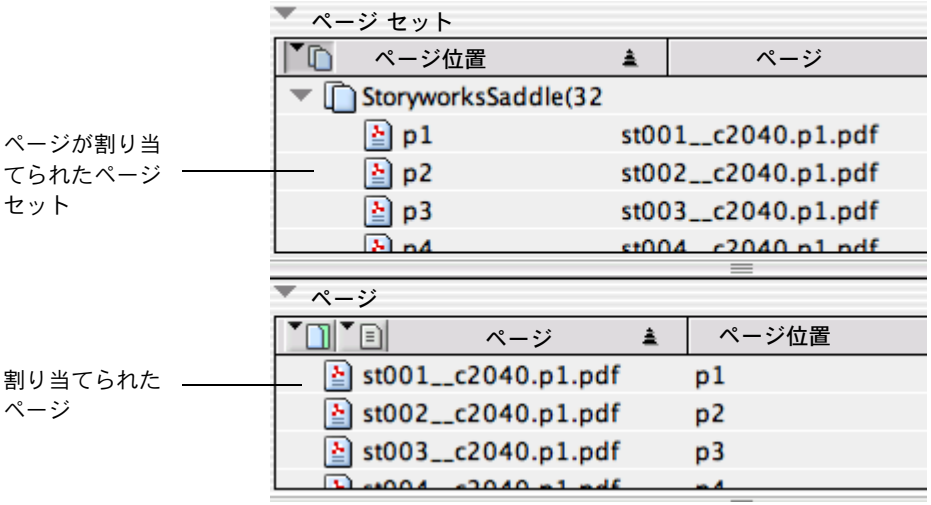
ページ セットまたは面付けのいずれのページ位置にページを割り当てることも可能です。ページ セットにページを割り当てると、対応する面付けプランにも割り当てが作成されます。逆の場合も同様です。

以下の条件の場合のみ、割り当てを作成する必要があります。

- Preps などの統合された面付けソフトウェアで割り当てが作成されていない。
- 既存の面付けに新しい内容を割り付けたい。

以下の方法のいずれかで、割り当てを作成できます。

- ページをページ セットのページ位置にドラッグする（［**サムネイル表示**］の場合のみ）。
- ページを選択し、［**編集**］>［**ページ位置へのページの割り当て**］の順に選択する。



ページ ジオメトリの設定

以下の複数の方法でページ ジオメトリ設定を PDF ページに追加することが可能です。

- Adobe PageMaker® や QuarkXPress ファイルから作成した PostScript に含まれるマークのオフセットを Prinergy Connect で自動的に適用する。
- Prinergy Connect の［ページ ジオメトリ設定］ダイアログ ボックスを使用して、トリミング サイズ、オフセット、および方向を設定する。適用する値が分かっている場合にはこの方法を使用します。
- Acrobat 用 Creo プラグインである Prinergy Geometry Editor を使用して、ページのトリミング サイズを視覚的に設定する。
- APA ファイルを使用して、リファイン プロセスの最後にページ ジオメトリを自動的に設定する。

ページ ジオメトリを設定するには

1. ［**ページ**］表示または［**折丁**］表示の［ページ］ウインドウ枠でページを選択します。
2. ［**編集**］メニューから、［**ページ ジオメトリの設定**］を選択します。

7

プルーフ、プレート、およびフィルム

プルーフ、プレート、およびフィルムの作成 46
単ページ プルーフの作成 46
出力時の留意点 47
面付けプルーフの作成 49
他のプルーフ方法 50
承認 51
プレートまたはフィルムの作成 52

プルーフ、プレート、およびフィルムの作成

ページ、面付け、面、または色版のプルーフを作成できます。

Prinergy Connect では、以下の方法でプルーフを作成できます。

- 単ページ出力プロセス テンプレートを使用して、面付けされていない各ページのプルーフを作成する
- 面付けプルーフ出力プロセス テンプレートを使用して、面または面付けのプルーフを作成する
- ハード プルーフを作成しない他の方法を使用する

プルーフ プロセス時に、各ページ、面、または面付けを校了または却下できます。

プルーフ確認後、プレートまたはフィルムで最終出力を作成します。

プルーフまたは最終出力時に、以下が実行できます。

- 出力のカラー マネジメント
- マークの追加
- キャリブレーションの設定
- スクリーニングの設定

単ページ プルーフの作成

単ページ出力プロセス テンプレートを使用して、面付けされていないページを使用可能なデバイスに出力して、プルーフを作成します。単ページ出力プロセス テンプレートは、面付けされていないページを出力メディアにレイアウトする設定を制御します。

ページをページ セットに割り当てる、または単ページ プルーフを作成する前に面付けを追加する必要はありません。

プルーフィング デバイスがサポートできる以上のスポット カラーがジョブに含まれる場合は、［プロセスの開始］ダイアログ ボックスの［**カラー変換**］ボタンをクリックして［カラーの出力］ダイアログ ボックスを使用して、スポット カラーの数を減らします。

単ページ プルーフを作成するには、以下を実行します。

1. ［**ページ**］表示の［ページ］ウインドウ枠からページを選択します。
2. ［プロセス テンプレート］ウインドウ枠の単ページプロセス テンプレートに、選択したエレメントをドラッグします。

   詳細については、14 ページの「プロセスの開始」を参照してください。

出力時の留意点

面付けプルーフまたは最終出力を作成する際は、以下に留意してください。

- 分版
- マーク
- キャリブレーション
- スクリーニング

分版

［**色版**］表示に切り替えると、各版を確認することができます。



マーク

マークは、ページの内容に加えて、印刷用紙または出力メディア上に印刷されるテキストまたは画像です。マークは通常、出力に関する情報を提供します。たとえば、カラー バーやジョブ名などです。また、顧客の承認用スペースとして使用される場合もあります。

マークは、ページ マークまたはシート マークとして使用できます。ただし、ページ マークは各ページに印刷されるため、そのページに特定の情報になります。シート マークはメディアごとに印刷されるため、シートまたはメディア全体に関連する情報になります。単ページ プルーフにページ マーク、すべての出力タイプにシート マークを配置できます。



以下の方法で、マークを出力に追加できます。

- 面付けマーク ファイルの使用 — Preps などの面付けソフトウェアを使用してマークを面付けに追加し、面付けおよびそのマーク ファイルを Prinergy Connect にインポートします。
- プロセス テンプレート設定の使用 — 出力プロセス テンプレートでマークの配置およびファイル パスを指定します。

キャリブレーション

出力を作成する際、出力プロセス テンプレートの［**キャリブレーション& スクリーニング**］セクションでキャリブレーションを設定します。

印刷時の色調をコントロールするためにキャリブレーションを行う必要があります。ドット ゲインによりハーフトーン ドットのサイズが変わると、印刷時に色調が変化します。キャリブレーションを行うことにより、版上のドットの正確な大きさを再現し、印刷用紙上の色調やグレー バランスをコントロールします。Harmony ソフトウェアを使用して、印刷時の色調再現をコントロールするキャリブレーション カーブを作成、適用、および管理します。

Harmony についての詳細は、「Harmony ユーザー ガイド」を参照してください。

スクリーニング

出力を作成する際、出力プロセス テンプレートの［**キャリブレーション& スクリーニング**］セクションでスクリーニングを設定します。

以下の方法で、スクリーニング情報を指定できます。

- 他のソフトウェアで作成された PDF ファイルにスクリーニング情報を含める
- 出力プロセス テンプレートでスクリーニング情報を指定する
- Acrobat 用 Prinergy DotShop プラグインを使用してスクリーニング情報を指定する

面付けプルーフの作成

面付けプランをジョブにインポートし、その面付けプランに関連付けられているページ セットにページを割り当てた後、面付けプルーフをプルーファで作成して結果を確認できます。

面付けプルーフを作成するには、面付けプラン プルーフ プロセス テンプレートを使用します。

面付けプルーフを作成するには

1. ［**折丁**］表示の［面付けプラン］ウインドウ枠で折丁を選択します。
2. ［プロセス テンプレート］ウインドウ枠のプルーフ プロセス テンプレートに、選択した項目をドラッグします。

   詳細については、14 ページの「プロセスの開始」を参照してください。
3. ［新規レイアウトの詳細］ダイアログ ボックスで、既存のアートワーク セットを選択するか新しいアートワーク セットを作成し、［**OK**］をクリックします。

他のプルーフ方法

ハード プルーフを作成しない別の方法を使用してプルーフできます。

Adobe Acrobat

Adobe Acrobat を使用すると、プルーフを作成せずに PDF ファイルを表示して簡単に確認することができます。入力ファイルのリファイン後、[**ページ**] 表示の［ページ］ウインドウ枠で PDF ファイルをダブルクリックして、PDF ファイルを表示します。

Creo プラグインを使用すると、トラップや色版を表示し、表示速度を上げることができます。詳細については、4 ページの「Prinergy 製品群」を参照してください。

PDF ファイルの発行

［PDF ファイルの発行］オプションを使用して、指定されたフォルダの 1 つまたは複数の PDF ファイルにページを送信します。

Virtual Proofing System ソフトウェア

Creo Virtual Proofing System を使用して、クライアント コンピュータでジョブのソフト プルーフを作成することができます。各ページまたは面付けされたページを表示できます。Virtual Proofing System を使用して、表裏のバックアップ、ドブ、裁ち幅、トンボ、マーク、色分解、トラッピング、およびレイアウトを確認します。

仮想プルーフを作成するには、プルーフするエレメントを選択して、仮想プルーフ用に設定されたプロセス テンプレートを開始します。



Virtual Proofing System に関する詳細は、「Virtual Proofing System ユーザー ガイド」を参照してください。

承認

承認の各ステータスを使用して、エレメントの処理をワークフローの次の段階に進めるかどうか指示します。

ページに対する顧客の承認

承認ステータスはページごとに指定できます。

このステータスは、Synapse InSite を使用している顧客と作業するのに役立ちます。また、このステータスを使用して、リファインまたは出力作成時のエラーを減らすこともできます。

処理の制御

Administrator での設定により、顧客承認ステータスが特定のプロセスを実行できるかどうかに影響を与える場合があります。

- ステータスが「校了」のページをリファインできない場合があります。
- 面または折丁のいずれかのページが「却下」に設定されている場合、面付けプルーフ プロセス テンプレートまたは最終出力プロセス テンプレートを使用して出力できない場合があります。
- 面または折丁のすべてのページが「校了」または「校正不要」に設定されている場合を除いて、面付けプルーフ プロセス テンプレートまたは最終出力プロセス テンプレートを使用して出力できない場合があります。

以下の方法で、顧客の承認ステータスを Workshop で確認できます。

- ページに関する情報を見る。

  60 ページの「ジョブおよびエレメントに関する情報を見る」を参照してください。

- ［**顧客の承認**］列は、［**ページ**］表示または［**折丁**］表示のいずれかの［ページ］ウインドウ枠に表示されます。

  16 ページの「列の表示および非表示」を参照してください。

プルーフの校了

作成するすべてのプルーフの校了または却下を記録することができます。たとえば、顧客用にページ内容のプルーフを出力する場合、最終プルーフを出力する前にページ内容の承認を示すことができます。校了する前に、まずプルーフを作成しておく必要があります。

プルーフの校了は、内部のみの情報です。この承認は、顧客向けの Synapse InSite では表示されず、Prinergy で実行できる内容に影響はありません。

承認ステータスの設定後、校了アイコン  または却下アイコン  が、プルーフ プロセスの列に表示されます。

プレートまたはフィルムの作成

プレートまたはフィルムを作成するには、最終出力プロセス テンプレートを使用します。選択したプロセス テンプレートには、出力結果を指定するオプションが含まれます。

フィルムまたはプレートを作成するには

1. ［**折丁**］表示の［面付けプラン］ウインドウ枠から折丁を選択します。
2. ［プロセス テンプレート］ウインドウ枠の最終出力プロセス テンプレートに、選択したエレメントをドラッグします。

   詳細については、14 ページの「プロセスの開始」を参照してください。
3. ［新規レイアウトの詳細］ダイアログ ボックスで、既存のアートワーク セットを選択するか新しいアートワーク セットを作成し、［**OK**］をクリックします。

8 ファイルの管理

ジョブのアーカイブ 54
ジョブの完了 55
ジョブの破棄 55
ジョブのエクスポート 55

ジョブのアーカイブ

ジョブが完了したらジョブ ファイルをアーカイブし、ジョブ ファイルをパージして、その分のディスク領域を開放します。後で必要になった場合、そのジョブ ファイルを読み込めます。

Archiver のライセンスがシステムにある場合のみ、アーカイブ、パージ、および読み込みが可能です。

ジョブ ファイルのアーカイブ、パージ、および読み込みは、それぞれアーカイブ、パージ、および読み込みプロセス テンプレートで制御します。

ジョブ ファイルのアーカイブおよびパージはいつでもできますが、通常、ジョブの印刷後に行います。

ジョブ全体をアーカイブする場合、Prinergy Connect は、ジョブ フォルダ内のすべてのファイル、および別のボリュームからジョブに追加したファイルをアーカイブします。ジョブをパージする場合、ジョブ フォルダ全体が元のボリュームから削除されますが、別の入力ボリュームにある入力ファイルはパージされず、現在の場所にそのまま残ります。

特定のファイルまたはジョブ全体をアーカイブ、パージ、および読み込むには、ジョブ マネージャーを使用します。複数のジョブをアーカイブするには、ジョブ ファインダを使用します。

ジョブをアーカイブするには

1. ［ジョブ マネージャー］でウィンドウの下にあるジョブ ボタンを選択します。
2. ［プロセス テンプレート］ウインドウ枠のアーカイブ プロセス テンプレートに、選択した項目をドラッグします。

   詳細については、14 ページの「プロセスの開始」を参照してください。
3. ［新規レイアウトの詳細］ダイアログ ボックスで、既存のアートワーク セットを選択するか新しいアートワーク セットを作成し、［**OK**］をクリックします。



アーカイブについての詳細は、「Prinergy システム管理ガイド」を参照してください。

アーカイブ情報の表示

アーカイブ後、［ジョブ マネージャー］の［**ストレージ**］表示を使用して、ジョブのファイルに関するアーカイブ情報を表示します。

［**ツール**］メニューから［メディア マネージャー］を使用して、システムのリムーバブル ストレージ メディアに関する情報を表示できます。

ジョブの完了

ジョブまたはプリジョブのステータスを「完了」にし、アクティブでないことを示します。ジョブまたはプリジョブのステータスは、［ジョブ ファインダ］から手動で「完了」に設定するか、ジョブ全体をパージする際に自動的に設定します。30 ページの「ジョブ属性とステータスの設定」を参照してください。

ジョブの破棄

ジョブを破棄すると、システムから完全に削除され、取得することはできなくなります。



注意：ジョブは、再度使用する必要がない場合にのみ破棄します。ジョブが再度必要になる可能性がある場合は、ジョブを破棄せず、アーカイブしてパージします。

ジョブのエクスポート

ジョブまたはジョブの一部を遠隔の Prinergy システムに送信する場合は、ジョブをエクスポートします。Prinergy Connect はジョブの多くのエレメントを含む .zip ファイルを作成します。ジョブ履歴および元の入力ファイルは、送信される .zip ファイルに含まれません。

エクスポート先などのエクスポートに関する設定は、エクスポート プロセス テンプレートで制御します。

ジョブをエクスポートするには

- ［ジョブ ファインダ］でジョブを選択し、［**ファイル**］メニューから［**ジョブのエクスポート**］を選択します。
- ［ジョブ マネージャー］の［**ファイル**］メニューから［**ジョブのエクスポート**］を選択します。

ジョブのエクスポート（追加分）

部分的なエクスポート ジョブは、割り当てられたページと面付けジョブチケットを持つ折丁です。ある環境からジョブを分割してエクスポートしたファイルを遠隔の環境で受け取って、［ジョブ マネージャー］で既存のジョブへの追加分としてインポートし、1 つのジョブにすることができます。

ジョブの一部をエクスポートするには

1. ［**折丁**］表示で、複数の折丁を選択します。
2. ［**ファイル**］メニューから［**ジョブのエクスポート（追加分）**］を選択します。

9 ジョブの監視

アクティブなプロセスのチェック 58
ジョブおよびエレメントに関する情報を見る 60
キュー マネージャーの確認 61
ジョブ履歴の確認 61
システム履歴の確認 62

アクティブなプロセスのチェック

以下の領域で、アクティブな処理状況に関する情報が表示されます。

- ［プロセス］ウインドウ枠
- 動的な列
- ［処理情報］ダイアログ ボックス

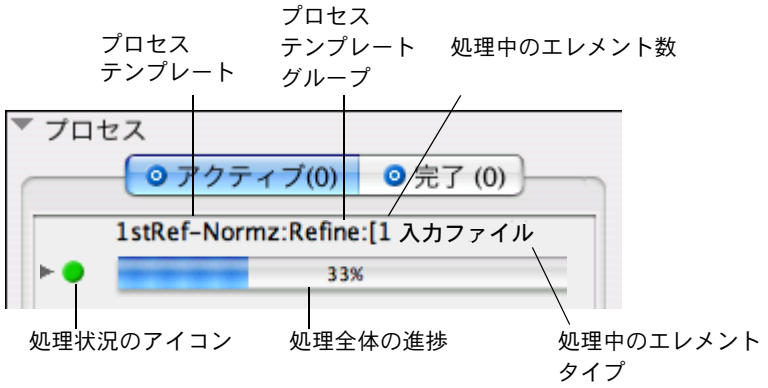
［プロセス］ウィンドウ枠

エレメントの処理を開始すると、［プロセス］ウインドウ枠にアクティブなプロセスが表示されます。このウインドウ枠は、［ジョブ マネージャー］のどの表示でも常に表示され、特定のジョブのアクティブなプロセスおよび完了したプロセスをすべて一覧表示します。

［プロセス］ウインドウ枠は、以下の 2 つのタブで構成されます。

- **アクティブ** — 処理中のプロセスを表示します。
- **完了** — 問題なく完了、警告やエラーが発生して完了、またはエラー終了したプロセス、およびエラー終了のため完了せずに中止されたプロセスが表示されます。

デフォルトでは、プロセスは以下の形式で［プロセス］ウインドウ枠に表示されます。

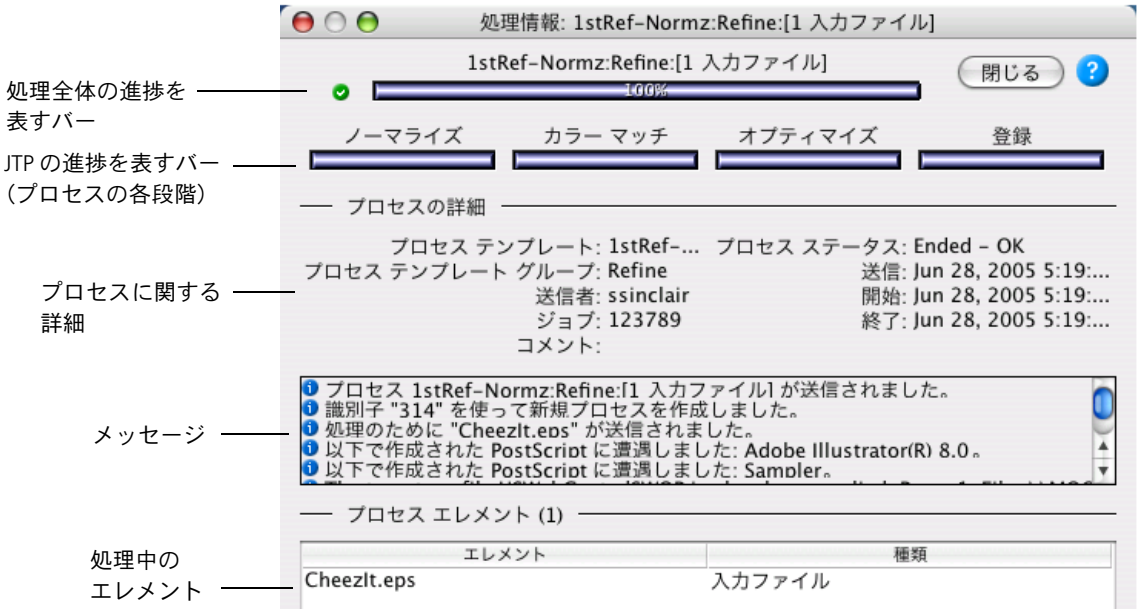


動的な列

各プロセスを開始すると、動的な列が［ジョブ マネージャー］に自動的に表示されます。列には、エレメントの処理に使用したプロセス テンプレートと処理状況が表示されます。

［処理情報］ダイアログ ボックス

［処理情報］ダイアログ ボックスは、関連するエレメントに関するシステム メッセージおよび情報を一覧表示します。



環境設定で、［**プロセスが実行されるときに［処理情報］ウィンドウを表示**］が選択されている場合、ダイアログ ボックスは自動的に表示されます。15 ページの「Workshop のカスタマイズ」を参照してください。［プロセス］ウインドウ枠のアイコンをダブルクリックして、ダイアログ ボックスを手動で表示することもできます。

プロセスが完了した後は、ジョブ履歴でこれらの詳細を参照できます。詳細については、61 ページの「ジョブ履歴の確認」を参照してください。

たとえば、Virtual Proofing System を使用してプルーフを作成すると、［**VPS**］列が表示されます。

処理状況のアイコン

アイコンは、プロセスの処理状況を示します。これらのアイコンは、［プロセス］ウインドウ枠、［処理情報］ダイアログ ボックス、および動的な列に表示されます。

処理状況を示すアイコンには、以下の 2 種類があります。

- 処理状況アイコン

   キューに置かれている
   処理中
   一時停止
   ユーザーのアクション待ち

- ステータス アイコン

   警告またはエラーなし
   警告もエラーもなくプロセスを完了
   警告
   エラー

ジョブおよびエレメントに関する情報を見る

［**情報を見る**］メニュー アイテムを使用して、ジョブ、ファイル、または折丁などのエレメントについて、［ジョブ ファインダ］および［ジョブマネージャー］に情報を表示できます。

たとえばジョブに関する情報を表示するには、［ジョブ ファインダ］でジョブ選択し、［**ファイル**］メニューから［**情報を見る**］を選択します。［情報を見る］ダイアログ ボックスが開き、すべてのジョブ属性およびジョブ フォルダとその他のジョブ ファイルのサイズが表示されます。

キュー マネージャーの確認

キュー マネージャーは、サーバーが実行するプロセスをすべて一覧表示します。キュー マネージャーを使用して、プロセスを停止、保留、または再開したり、キューにあるプロセスの優先順位を変更できます。

アクティブでキューにあるプロセスを表示するには

1. ［**ツール**］メニューから［**キュー マネージャー**］を選択します。
2. ［**JTP キュー**］タブまたは［**プロセス タイプ**］タブをクリックします。
   - ［**JTP キュー**］表示は、システムの特定 JTP（ジョブ チケット プロセッサ）のアクティブなプロセスをすべて表示します。
   - ［**プロセス タイプ**］表示では、特定のプロセス タイプのアクティブなプロセスをすべて表示します。
3. JTP タイプまたはプロセス タイプを一覧から選択します。

ジョブ履歴の確認

［ジョブ マネージャー］の［**履歴**］表示を使用して、ジョブ履歴を確認します。

［**履歴**］表示には、各ジョブに関する以下の情報が表示されます。

- ジョブに対して行われた各操作の説明
- 操作が行われた日付と時間
- メッセージの重要度

システム履歴の確認

システム履歴では、ジョブの内容以外の操作に関するメッセージ、およびアーカイブ、パージ、読み込みの履歴を表示します。

たとえば、夜間に複数のジョブをアーカイブした場合、次の日にジョブをそれぞれ開かずにその結果を確認でき便利です。

システム履歴を表示するには

➢ ［**ツール**］メニューから［**システム履歴**］を選択します。

A

サポートされている ファイル形式

入力ファイル形式 64
出力ファイル形式 65
面付けプラン 66

入力ファイル形式

Prinergy Connect では、以下の入力ファイル形式がサポートされています。

- PDF 1.2、1.3、1.4（分版またはコンポジット）（注意 1 を参照してください。）
- PDF/X-1a:2001、PDF/X-3（注意 1 を参照してください。）
- PostScript レベル 1、レベル 2 および PostScript 3（分版またはコンポジット）
- EPS
- DCS 1 および DCS -2（シングルまたはマルチファイル）
- 互換性のあるソフトウェアで作成された PDF ジョブ チケット
- CT/LW（Brisque および PS/M 5 以上）。（注意 2 を参照してください。）CT および LW の New、Native、および Handshake 形式を含む
- TIFF/IT-P1（注意 2 を参照してください。）

注意：

1. レイヤーまたは JPEG 2000 画像が検出された場合、PDF 1.5 ファイルは処理できません。
2. CEPS JTP のライセンスがある場合のみサポートされます。
3. 分版されたファイルでは、トラッピング、カラー マネジメントなどの一部の機能を使用することができません。

出力ファイル形式

Prinergy Connect では、以下の出力ファイル形式がサポートされています。

注意：ライセンスによっては使用できない出力形式もあります。

ベクター形式：

- PDF 1.3（分版またはコンポジット、入力ファイルによって異なる）
- PDF/X-1a:2001
- PostScript 3（分版またはコンポジット、入力ファイルによって異なる）
- PostScript Level 2（分版）
- DCS-2 ベクター
- EPS ベクター

ラスター形式：

- ラスター DCS-2（スクリーン済みまたは連続諧調）
- ラスター EPS（スクリーン済みまたは連続諧調）
- Virtual Proofing System
- TIFF（スクリーン済みまたは連続諧調）
- Scitex CT（連続諧調）
- HPRTL（スクリーン済みまたは連続諧調）
- Epson 5000（スクリーン済み）
- Epson 9000（スクリーン済み）
- Kodak Approval TIFF（スクリーン済み）
- Kodak Approval EPS（スクリーン済み）
- JPEG（連続諧調）
- BMP（スクリーン済み）
- CT/LW および TIFF/IT
- LQS TIFF

面付けプラン

Prinergy Connect は、ファイル名に .JT（ジョブ チケット）が付く面付けプランをサポートします。

Adobe Job Ticket、および以下のソフトウェアで作成された別のマークファイルを Prinergy Connect にインポートできます。

- Preps
- Pandora
- Dynagram DynaStrip
- Ultimate Technologies ImpoStrip®
- Heidelberg PrePress SignaStation

注意：ジョブ チケットは、各ソフトウェア バージョンがサポートする場合に使用できます。最新情報については、サービス担当者にお問い合わせください。

用語集

Adobe Extreme	商業印刷向けの高性能なシステム アーキテクチャ。Prinergy Connect ではこの技術が中核として採用されています。PDF、PJTF（Portable Job Ticket Format）、および通信構造の下層レイヤーがサポートされます。
CEPS	Color Electronic Prepress System。ページの作成、スキャン、および画像処理に使用されてきた製版専用システム。
CT/LW	CT（連続諧調）が LW（ライン ワーク）から分離したファイル形式。第 3 のファイル（レイアウト ファイルと呼ばれる）により、ライン ワークでの CT 画像の配置が指定されます。
Extreme	「Adobe Extreme」を参照してください。
ICC プロファイル	International Color Consortium の略。異なるプラット フォーム、デバイス、およびソフトウェアでカラーを正確に再現するために使用する、カラー スペースの標準。
Job Ticket Processor（JTP）	Adobe Extreme のジョブ チケットの処理に必要な手順を実行するソフトウェア。JTP は Administrator を使用して設定できます。
JTP	「Job Ticket Processor（JTP）」を参照してください。
OPI	Open Prepress Interface。低解像度のプレースホルダ画像を高解像度の画像で自動的に置換する PostScript の拡張機能です。
PDF	Portable Document Format。ページの ライン アート、画像、およびテキスト（必要なフォントすべてを含む）を保存するための信頼できるファイル形式。
Portable Document Format	「PDF」を参照してください。
Portable Job Ticket Format（PJTF）	Adobe の PJTF（Portable Job Ticket Format）には、1 ページまたは複数ページに対するデバイス固有の設定、および目的の出力形式が記述されます。「ジョブ チケット」も参照してください。
RIP（動詞）	Raster Image Processor。PostScript データをラスター（ビットマップ）データに変換するソフトウェア。
アーカイブ	ジョブや関連ファイルを恒久的に保存するために、メディアに書き込むこと。ファイルはコンテキストと共に保存されますが、ジョブ データは Prinergy Connect データベースに残るため、ジョブをシステムに戻すことが可能です。「読み込み」および「パージ（動詞）」を参照してください。
色版	1 つの面のカラー レイヤー

エレメント ジョブ内のさまざまなアイテム。ページ、ページ セット、折丁、または入力ファイルなど。

オプティマイズ 「画像のオプティマイズ」を参照してください。

折丁 書籍またはパンフレットの折を構成する複数枚のシートです。

折丁プルーフ 「面付けプルーフ」を参照してください。

画像検索パス ジョブの高解像度画像の保存場所を指定します。Prinergy Connect は、ジョブに追加する入力ファイルに画像が埋め込まれていない場合、画像検索パスを使用します。

画像のオプティマイズ リファイン プロセスの処理段階の 1 つで、トリミングとダウンサンプルで入力ファイルの画像サイズを縮小します。

カラー マッチ（動詞） 1 つのカラー スペースを別のカラー スペースに変換する場合、たとえば、RGB から CMYK に変換する場合に、カラーの整合性を保つこと。Prinergy Connect は ICC プロファイルを使用して、デバイス独立型（デバイスに依存しない）カラー スペースである L*a*b* に割り当てます。

カラー変換 余分なカラーを他のスポット カラーやプロセス カラーに割り当てることにより、出力時に入力ファイルのスポット カラー数を減らすこと。

グループ ジョブやプリジョブの整理に使用します。フォルダ構造に似ていますが、ファイル ブラウザからは確認できません。内部データ構造の一部です。

サーバー ネットワーク経由で接続されているほかのコンピュータに対して、特定のサービスを提供するコンピュータ。

サムネイル Workshop および Synapse InSite に表示されるページまたは折丁の低解像度サンプル画像。

出力 出力には単ページ プルーフ、面付けプルーフ、および最終出力（プレートまたはフィルム）の 3 種類があります。これらの出力タイプは、プロセス プラン エディタのプロセス テンプレート タイプに対応しています。

ジョブ 出力するファイルを整理するために使用される単位。通常ジョブは、特定の出版物に必要なコンポーネントすべてで構成されますが、そうでない場合もあります。ジョブを作成すると、Prinergy Connect が、ジョブ フォルダとジョブを追跡するためのデータベース エントリを作成します。

ジョブ チケット Adobe Extreme で実行する、1 つまたは複数の処理手順に関連した情報を集めたもの。この情報には、どの JTP をどの順序で使用するかを指定したマップまたはルートが含まれています。「Job Ticket Processor（JTP）」および「Adobe Extreme」を参照してください。

ジョブ フォルダ プリジョブやジョブに対するシステム ファイルをすべて保存する、Prinergy Connect サーバー上のフォルダ（またはディレクトリ）。また、ジョブ フォルダには顧客からの入力ファイルを入れることができます。ジョブ フォルダは指定された共有ディレクトリに保存され、ジョブ情報を整理するのに役立つサブ フォルダをいくつでも入れることができます。

ソース ファイル 「入力ファイル」を参照してください。

ソフト プルーフ コンピュータの画面に表示されるプルーフ。通常、Adobe Acrobat や Virtual Proofing System ソフトウェアなどのソフト プルーフィング アプリケーションを使用します。

ダウンサンプル 画像の解像度を低くすることです。Prinergy Connect では、リファイン プロセスで画像のオプティマイズを行ってダウンサンプリングします。ダウンサンプルの値は、リファイン プロセス テンプレートの［**オプティマイズ**］セクションで設定します。

単ページ プルーフ プルーファー（レーザー プリンタやカラー プリンタなど）、または VPS（Virtual Proofing System）ソフトウェアへの、リファイン済みの 1 ページまたは複数ページの出力。

テンプレート ジョブ 他のプリジョブやジョブで使用するホット フォルダ、属性、および画像またはフォント検索パスを含む、プリジョブまたはジョブのこと。新規プリジョブまたはジョブを作成する際のテンプレートとして使用することにより、その新規プリジョブまたはジョブはテンプレートの設定に基づいて処理されます。

動的な列 エレメントが処理されると、Workshop のウィンドウやウィンドウ枠に自動的に項目が表示される列。列には、エレメントおよびプロセス ステータスの処理に使用したプロセス テンプレートが表示されます。

トラッパー トラッピングの機能を提供する Prinergy ソフトウェア コンポーネント（Trapper JTP）。

トラップ（動詞） 白いスペースがカラーの間に表示されないようにするために、隣接する印刷カラーをわずかに重ねる印刷技術。

ドット ゲイン ハーフ トーン出力での網点再現の現象で、ハーフ トーン ドットのサイズは実際のもの（物理的ドット ゲイン）と視覚的なもの（光学的ドット ゲイン）では異なります。

入力ファイル 印刷物の内容を含む、顧客（印刷物の発注者）から受け取ったファイル。たとえば、入力ファイルは、Adobe Illustrator のファイルなどの顧客のクリエイティブ デザイン ファイルを PostScript ファイルに出力することによって作成できます。

ノーマライズ 入力ファイルの各ページごとに 1 ページの PDF を作成するリファイン プロセスの処理段階の 1 つ。

バージョニング 複数のレイヤーをジョブを設定すること。ページ セットの同じページ位置に複数のページを割り当てることができます。バージョニング面付けプランをジョブにインポートすることもでき、共通および固有の色版を表示／非表示できます。

パージ（動詞） 選択したジョブ ファイルを Prinergy Connect サーバーから削除すること。ジョブのメタデータがデータベースに保持されるため、ジョブはシステムに残ります。「破棄」と比較してください。「アーカイブ」および「読み込み」を参照してください。

破棄 Prinergy Connect システムからジョブおよびその関連情報すべてを永久に削除すること。履歴ログ項目も破棄できます。

プリジョブ ジョブを整理するための単位。ジョブに似ていますが、複数のジョブで使用されているエレメントを保管、またはエクスポートされたジョブを処理します。

プルーフ 用紙または画面などに、最終的に印刷される状態をテストとして出力するもの。「面付けプルーフ」および 「単ページ プルーフ」も参照してください。

プロセス たとえばリファイン、出力、インポート／エクスポート、およびアーカイブ／読み込み／パージなどのプロセス テンプレートで実行する処理。Prinergy Connect でのその他のすべての処理は操作と呼ばれます。プロセスには、プロセスが操作する 1 つまたは複数のエンティティ（たとえば、入力ファイル、PDF ページ、折丁、面、または色版など）と、プロセスがエレメントを処理する方法を指定するプロセス テンプレートが必要です。

プロセス テンプレート プロセスの実行方法を Prinergy Connect に伝える、オプションと設定が含まれるファイル。

プロセス テンプレート グループ プロセス テンプレートを組織化する方法。プロセス テンプレート グループは、プロセス テンプレート エディタを使用して作成および管理します。

ページ テキスト、図、フォントを含む個々のページである PDF ファイル。

ページ ジオメトリ それぞれのページのオフセット、トリミング サイズ、回転、スケーリング、裁ち幅を定義する設定。

ページ セット ページ（つまりジョブの内容）と面付けプランを関連付ける設定。ページ セットがあるため、ページの割り当てが特定の面付けプランに限定されません。ページをページ セットのページ位置に割り当てると、そのページは自動的に面付けプランの対応する位置に割り当てられます。

ページ プルーフ 「単ページ プルーフ」を参照してください。

ページ位置 ページの割り当てができる場所を示す、ページ セットのプレースホルダ。ページ セットはページ位置から構成されています。ページ セットにおけるページ位置の数は、面付けプランのページ数と同じです。「ページ セット」も参照してください。

ホット フォルダ 処理を自動で開始するために、ファイルの受け取りが監視されているフォルダ。定期的にフォルダのある場所をソフトウェアが確認し、検出されたファイルを自動的に処理します。

ボリューム Prinergy Connect サーバー上の共有フォルダ。Administrator を使用してボリュームを追加する必要があります。

面付け 印刷された用紙が折り込まれた後でページの順序が正しくなるように、印刷用紙の表面と裏面にページを配置する方法。

面付けプラン 1 つまたは複数の折丁のマーク、ジオメトリ、およびレイアウトされたページ位置の記述ファイル。通常、ページ内容は含みません。面付けプランは、Preps などの面付けソフトウェアを使用して空白ページの面付けを作成し、PDF ジョブ チケットとして保存します。

面付けプルーフ シート、面、または色版のプルーファーへの出力。Prinergy Connect からのプルーフ出力は、エレメント、出力プロセス テンプレートの順に選択して開始します。折丁プルーフとも呼ばれます。

ユーザー定義フォルダ フォント、画像、または入力ファイルなどのジョブに関連するファイルを保存するフォルダで、**<job folder>\UserDefinedFolders** フォルダに作成されるユーザー固有のフォルダ。

読み込み メディアに以前アーカイブされた Prinergy Connect システム ファイルを取り戻すこと。「アーカイブ」および「パージ（動詞）」を参照してください。

ラスタライズ ベクター データをピクセル データに変換すること。

ランリスト Preps の用語で、折丁を構成するページの集合体を意味します。Preps で面付けプランを作成する場合、Preps のラン リストの各ページは Prinergy Connect ページ セットのページ位置に対応します。

リファイナ リファイン プロセスを実行するソフトウェア コンポーネント。リファイナがどのように作動するかは、選択したリファイン プロセス テンプレートによって異なります。「リファイン」も参照してください。

リファイン ノーマライズ、カラー変換、サムネイル生成および多くのほかの機能を含むプロセス。

リファインされたページ 入力ファイルをリファインする際、Prinergy Connect が作成する PDF ファイル。

レイヤー 複数の PDF ページをページ セットの同じページ位置に割り当てます。
レイヤーは通常バージョニングで使用します。「バージョニング」も参照してください。

レンダラー PDF 入力ファイルをラスター化し、スクリーニングするソフトウェア コンポーネント。

ワークフロー テンプレート ワークフロー テンプレートはプロセス テンプレートを組み合わせてリンクしたもので、自動化を促進します。

割り当てる ページ セットまたは面付けプランのどの位置にページ内容を表示するかを Prinergy Connect に指示すること。

索引

A

Adobe Acrobat による PDF ファイルのプルーフ , 50
Adobe Acrobat 用 Creo プラグイン
  Advanced Trap Editor, 5
  Creo Color TIFF XT, 6
  Creo Distiller Assistant, 6
  Creo PDF Trapper, 5
  PDF Compare, 5
  PDF Merge, 5
  Prinergy DotShop, 5, 49
  Prinergy Geometry Editor, 5
  Prinergy Separation Repair, 5
  Prinergy Separation Viewer, 5
  Prinergy TrapEditor, 5
  Prinergy View Accelerator, 5
  Trap Viwer, 5
  開始 , 6
  ジオメトリ エディタ , 44
Adobe Job Ticket, 66
Adobe 基本書体 , 31
Advanced Trap Editor, 5
APA（自動ページ割り当て）ファイル , 44

B

BMP ファイル , 65

C

CEPS 変換 , 36
Creo Color TIFF XT, 6
Creo Distiller Assistant, 6
Creo PDF Trapper, 5
CT/LW, 36
CT/LW、定義済み , 67
CT/LW ファイル , 64, 65
  変換 , 36

D

DCS 1 ファイル , 64
DCS-2 ファイル , 64
DCS-2 ベクター ファイル , 65
Director、説明 , 4
DotShop「Prinergy DotShop」を参照
Dynagram DynaStrip, 66
DynaStrip、Dynagram, 66

E

Epson 5000 ファイル , 65
Epson 9000 ファイル , 65
EPS ファイル , 64
EPS ベクター ファイル , 65

G

Geometry Editor、Prinergy, 5

H

Harmony, 48
Heidelberg PrePress SignaStation, 66
HPRTL ファイル , 65

I

ICC プロファイル , 30
ImpoStrip、Ultimate Technologies, 66

J

JPEG 2000 ファイル , 64
JPEG ファイル , 65
jt ファイル , 41

K

Kodak Approval EPS ファイル , 65
Kodak Approval TIFF, 65

L

LQS TIFF ファイル , 65

O

OPI, 32
Oracle, 6

P

Pandora, 66
  定義済み , 5
PANTONE カラー ライブラリ , 30
PDF
  発行 , 50
  表示の高速化 , 5
  プリフライト , 36
PDF 1.2 ファイル , 64
PDF 1.3 ファイル , 64, 65
PDF 1.4 ファイル , 64
PDF 1.5, 64
PDF Compare, 5
PDF Merge, 5
PDF/X-1a ファイル , 64, 65
PDF/X-3 ファイル , 64
PDF ジョブ チケット , 64
PDF の発行 , 50
PDF のプリフライト , 36
PDF プリフライト、リファイン プロセス テンプレート , 36
PFA 形式 , 31
PostScript 3 ファイル , 64, 65
PostScript レベル 1 ファイル , 64
PostScript レベル 2 ファイル , 64, 65
Preps
  定義済み , 5
Preps 4.2, 66
Prinergy
  機能 , 3
  システム , 6
  システム ソフトウェア , 6
  システム ハードウェア , 6
  詳細 , 2
  製品群 , 4
  説明 , 3
Prinergy Connect、説明 , 4
Prinergy Direct、説明 , 4
Prinergy DotShop, 5, 49
Prinergy Geometry Editor, 5, 44
Prinergy Powerpack、説明 , 4
Prinergy Separation Repair, 5
Prinergy Separation Viewer, 5
Prinergy TrapEditor, 5
Prinergy View Accelerator, 5

Prinergy サーバー、Oracle データベース, 6
Prinergy の機能, 3
Printer Font ASCII (PFA) 形式, 31
PrintXT Quark XTension, 6

S

Scitex CT ファイル, 65
Separation Repair、Prinergy, 5
Separation Viewer, Prinergy, 5
Signastation、Heidelberg PrePress, 66
Synapse InSite
  Web への公開, 30
  説明, 4
  プルーフの校了, 52
Synapse Link
  説明, 4

T

TIFF/IT-P1 ファイル, 64
  変換, 36
TIFF/IT ファイル, 65
TIFF ファイル, 65
Trap Editor, Advanced, 5
Trap Viwer, 5
TrapEditor, Prinergy, 5

U

Ultimate Technologies ImpoStrip, 66

V

View Accelarator、Prinergy, 5
View Accelerator, 5
Virtual Proofing System, 50
Virtual Proofing System ファイル, 65

W

Web アクセス、ジョブの公開, 30
Workshop
  開始, 10
  カスタマイズ, 15
  ハードウェア, 6
  はじめに, 6
［Workshop 環境設定］ダイアログボックス, 15
Workshop のカスタマイズ, 15
Workshop の起動, 10

あ

アーカイブ, 54
アーカイブしたファイル, 55
アーカイブ ジョブの読み込み, 54
アーキテクチャ, 6
アートワーク セット
  情報を見る, 60
アイコン, 59
  承認ステータス, 52
  処理状況, 60
  プロセス, 60
  ユーザーによる操作の待機, 60
［アクティブ］タブ、［プロセス］ウインドウ枠, 58

い

一覧, 15
  並べ替え, 16
  表示または非表示, 16
一覧での表示, 15
一覧の展開, 16
一覧またはサムネイルでの表示, 15
一般的なワークフロー, 18
色版
  Prinergy Separation Repair, 5
色版の修復, 5
［色版］表示, 12, 47
インポート
  追加, 28
  ホット フォルダの使用, 27
インポート（追加分）, 28

う

ウィンドウ
  ジョブ ファインダ, 11
  列, 16

え

エディタ、トラップ, 5
エレメント
  概要, 14
  処理, 14
  情報を見る, 60
エレメントに関する情報を見る, 60
エレメントの並べ替え, 16
遠隔拠点へのジョブの転送, 22

お

オーバープリント, 37
お気に入り、ユーザーおよびジョブ, 16
オプティマイズ セクション、リファイン プロセス テンプレート, 37
折丁
  情報を見る, 60
［折丁］表示, 12
オンライン ヘルプ
  Acrobat 用 Creo プラグイン用, 6
  アクセス方法, 2
  用途, 2

か

カラー
  Prinergy での設定, 31
  値、代用, 31
  色版, 47
  スペース, 30
  分版された入力ファイル, 64
  変換, 37
  マッチング, 37
  ライブラリ, 30
カラー印刷順序, 47
カラー エディタ, 31
カラー スペース、代用, 31
カラー変換セクション、リファイン プロセス テンプレート, 37
環境設定、設定, 15
［完了］タブ、［プロセス］ウインドウ枠, 58
完了のステータス, 30
ガイド、説明, 2
画像検索パス
  設定, 32
  定義済み, 68
画像のオプティマイズ, 37

き

却下アイコン, 52
キャリブレーション, 48
［キャリブレーション&スクリーニング］セクション, 48, 49
キュー マネージャー, 61

く

クライアント
　サーバーとの交信, 7
　説明, 6
　ソフトウェア, 6
　ハードウェア, 6
クライアント サーバー アーキテクチャ, 6, 7

け

検索パス
　画像, 32
　フォント, 32

こ

校了アイコン, 52
コード、ジョブ, 30
顧客入力ファイル「入力ファイル」を参照
コピー
　画像検索パス, 32
　テンプレート ジョブからの設定, 26
　フォント検索パス, 32
コピードット セクション、リファイン プロセス テンプレート, 37
コピードット ファイル処理, 37
コピードット ファイルのリサンプリング, 37
コンテキスト センシティブ ヘルプ, 2

さ

サーバー
　クライアントとの交信, 7
　セカンダリ, 7
　ソフトウェア, 6
　ターシャリ, 7
　タイプ, 7
　ファイル, 7
　プライマリ, 7
　レンダー ステーション, 7
最終出力
　キャリブレーション, 48
　スクリーニング, 49
最終出力の納期, 30
最終出力プロセス テンプレート, 13, 52
最大レイヤー, 30
作成
　ジョブ, 26
　面付けプラン, 41
　面付けプルーフ, 49
　レイアウト, 41
作成済みステータス, 30
サポートされている出力ファイル, 65
サポートされているファイル形式
　出力, 65
　入力, 64
　面付けプラン, 66
サムネイル, 15
　生成, 37
サムネイル セクション、リファイン プロセス テンプレート, 37
サンプル ワークフロー, 18

し

システム アーキテクチャ, 6
システム管理ガイド, 2
システムの概要, 6
システム履歴ツール, 62
出力プロセス テンプレート
　キャリブレーション, 48
　［キャリブレーション&スクリーニング］セクション, 48, 49
　スクリーニング, 49
　単ページ プルーフ, 46
処理
　情報の表示, 59
処理状況アイコン, 58, 60
［処理情報］ダイアログ ボックス
　アイコン, 60
　説明, 59
ジオメトリ
　Prinergy Geometry Editor, 5
　設定, 44
自動化
　ページ ジオメトリ, 44
　ホット フォルダ, 28
　レイアウト, 37
［情報を見る］メニュー アイテム, 60
ジョブ
　アーカイブ情報, 55
　インポート, 22, 27
　インポートによる作成, 27
　エクスポート, 22
　遠隔拠点へのジョブの転送, 22
　監視, 58
　完了のステータス, 55
　キュー, 61
　削除, 55
　作成, 26
　情報の表示, 60
　情報を見る, 60
　ジョブ ファインダ, 11
　スポット カラー ワークフロー, 23, 37
　設定, 26
　属性の設定, 30
　テンプレート, 26
　入力ファイルの追加, 28
　入力ファイルのリファイン, 34
　破棄, 55
　バージョニング, 23
　パージ, 20
　非アクティブ化, 55
　ファイルの追加, 34
　複数のジョブのステータス確認, 62
　部分的なエクスポートとインポート, 56
　プルーフの作成, 46
　優先順位, 61
　履歴, 61
ジョブ グループ, 11
ジョブ コード, 30
ジョブ ステータス, 30
ジョブ属性, 30
ジョブ チケット, 41, 66
ジョブのインポート, 22, 27
ジョブのエクスポート, 22
ジョブの監視, 61
ジョブの削除, 55
ジョブの破棄, 55
ジョブの非アクティブ化, 55

ジョブ ファインダ
サンプル ウィンドウ, 11
列の非表示, 16
列の表示, 16
ジョブ フォルダ, 55
ジョブ マネージャー
［色版］表示, 12, 47
［折丁］表示, 12
［ストレージ］表示, 13, 55
表示, 12
［プロセス］ウインドウ枠, 58
［ページ］表示, 12
［履歴］表示, 13, 61
列の非表示, 16
列の表示, 16

す

スクリーニング, 49
Prinergy DotShop, 5, 49
角度, 31
出力プロセス
テンプレート, 48, 49
ステータス、ジョブ, 30
ステータス アイコン, 58, 60
ステップ＆リピート
情報を見る, 60
ステップ＆リピート、表示, 47
［ストレージ］表示, 13, 55
スポット カラー
CMYK への変換, 37
維持, 37
カラー印刷順序の設定, 47
カラー データベース, 30
カラー データベース内の
情報, 31
出力, 37
処理, 23, 37
変換, 37
ワークフロー, 23, 37
スポット カラーの処理, 46
スポット カラーの処理、リファイン
プロセス テンプレート, 37
スポット カラーの変換, 37, 47
スポット カラーを減らす, 46

せ

セカンダリ サーバー, 7
設定
お気に入りのプロセス
テンプレート, 16
ジョブ, 26

そ

ソフトウェア
サーバー, 6
ソフト プルーフ, 50
ゾーン バージョニング
バージョニングを参照
属性、ジョブ, 30

た

ターシャリ サーバー, 7
単ページ
プルーフ, 46
単ページ プルーフ
スポット カラーを減らす, 46
単ページ プルーフ プロセス
テンプレート, 13
単面アートワーク
サムネイルでの表示, 15
情報を見る, 60
単面アートワーク プルーフ
スポット カラー数を減らす, 46
代替
画像、生成, 37
代用
カラー スペース, 31
カラー値, 31

つ

「追加と処理」ファイル ホット
フォルダ, 28
追加入力ファイル専用ホット
フォルダ, 28
追跡
アクティブなプロセス, 58
ジョブ, 61

て

低解像度画像、生成, 37
テンプレート
プロセス「プロセス テンプ
レート」を参照
テンプレート ジョブ, 26
店名差し替え
バージョニングを参照
データベース, 6
データベース、カラー, 30

と

トラッピング
Prinergy TrapEditor, 5
リファイン時, 37
トラップ エディタ, 5
トラップ セクション、リファイン
プロセス テンプレート, 37
動的な列, 59
アイコン, 60
概要, 16
定義済み, 69

に

ニュートラル濃度, 31
入力ファイル
形式, 64
情報の表示, 60
情報を見る, 60
ジョブが破棄される時, 55
ジョブに追加, 28, 34
スポット カラーの変換, 37
定義済み, 69
保存, 7
リファイン, 34, 35

の

ノーマライズ, 36
ノーマライズ セクション、リファイ
ン プロセス テンプレート, 36

は

ハブ＆スポーク ワークフロー, 22
バージョニング, 30
定義済み, 23
レイヤーの設定, 30

パージ, 54
　ジョブ, 20
パス
　画像検索, 32
　フォント検索, 32

ひ

非表示
　一覧, 16
　列, 16
表示
　アクティブでキューにある プロセス, 61
　一覧, 16
　一覧での表示, 15
　色版, 12
　エレメントに関する情報, 60
　折丁, 12
　サムネイル, 15
　処理状況に関する情報, 59
　ジョブ属性, 60
　ジョブ マネージャー, 12
　ジョブ履歴, 61
　ストレージ, 13
　ページ, 12
　履歴, 13
　列, 16
表示項目, 16
表示または非表示
　エレメントの一覧, 16
　列, 16

ふ

ファイル
　出力用にサポートされている 形式, 65
　処理, 14
　入力ファイル形式, 64
ファイル サーバー, 7
フィルム, 52
フォルダ、ホットト「ホット フォルダ」を参照
フォント
　検索パス, 32
　処理, 31
　変換, 31
フォント検索パス
　コピー, 32
不透明度, 31
分散処理, 7
プライマリ サーバー, 7
プラグイン
　「Adobe Acrobat 用 Creo プラグイン」を参照
プリジョブ
　インポート ホット フォルダの ある, 27
　使用, 28
　設定, 28
プルーフ
　Acrobat の使用, 50
　Virtual Proofing System, 50
　概要, 46
　校了, 52
　作成, 46
　スポット カラー数を減らす, 46
　ソフト, 50
　タイプ, 46
　単ページ, 46
　定義済み, 70
　面付け, 49
プルーフの校了, 52
プルーフの納期, 30
プレート, 52
プロセス
　一時停止, 61
　開始, 14, 61
　監視, 58
　管理, 61
　停止, 61
　優先順位、設定, 61
［プロセス］ウインドウ枠, 58
　アイコン, 60
プロセス テンプレート
　アーカイブ, 13
　インポート, 13
　エクスポート, 13
　お気に入り, 16
　概要, 13, 14
　最終出力, 13
　ショートカット, 16
　単ページ プルーフ, 13
　パージ, 13
　面付けプラン プルーフ, 13
　読み込み, 13
　リファイン, 13
プロセス テンプレートへの ショートカット, 16
プロセス テンプレートを アーカイブ, 13
プロセス テンプレートを インポート, 13
プロセス テンプレートを エクスポート, 13
プロセス テンプレートをパージ, 13
プロセス テンプレートを 読み込む, 13

へ

ヘルプ、オンライン
　アクセス方法, 2
　用途, 2
［ヘルプ］メニュー, 2
変換
　カラー, 37
　スポットカラーを CMYK に, 37
　フォント, 31
編集
　PDF, 35
　入力ファイル, 35
ページ
　情報を見る, 60
　プルーフの作成, 46
　ページ位置に割り当てる, 43
ページ位置にページを 割り当てる, 43
ページ ジオメトリ
　自動的に設定する, 44
　設定, 44
ページ セット
　追加, 40
　ページを割り当てる, 43
［ページ］表示, 12

ほ

保存
　入力ファイル, 7
ホット フォルダ, 28
　インポート, 27

ま

マーク ファイル, 66

め

面付け、自動, 37
面付けセクション、リファイン プロセス テンプレート, 37
面付けプラン
　作成, 41
　サポートされている形式, 66
　ページを割り当てる, 43
面付けプラン プルーフ プロセス テンプレート, 13
面付けプルーフ, 49

ゆ

ユーザー インターフェイス、Prinergy, 6

ら

ライセンス, 4
ライブラリ、カラー, 30
ラスター DCS-2 ファイル, 65
ラスター EPS ファイル, 65

り

リファイン
　スポット カラーの処理, 37
　ノーマライズ, 36
　方法, 35
　リファインの時期, 34
リファイン プロセス テンプレート, 13, 37
リファイン プロセス テンプレート
　［CEPS 変換］セクション, 36
　PDF プリフライト, 36
　［オプティマイズ］セクション, 37
　カラー変換セクション, 37
　［コピードット］セクション, 37
　サムネイル セクション, 37
　スポット カラーの処理, 37
　トラップ セクション, 37
　ノーマライズ セクション, 36
　面付けセクション, 37
リファイン プロセス テンプレートの［カラー変換］セクション, 37
履歴
　システム履歴, 62
　［履歴］表示, 61
［履歴］表示, 13, 61

れ

レイアウト
　作成, 41
レイアウト、自動, 37
レイヤー
　および PDF 1.5, 64
　最大, 30
レシピ、スポット カラー, 30
列
　エレメントの並べ替え, 16
　自動的に挿入, 16
　タイトル, 16
　動的な「動的な列」を参照
　表示または非表示, 16
列の非表示, 16
列の表示, 16
レンダー ステーション, 7

ろ

ログイン, 10

わ

ワークフロー
　一般的, 18
　インポート／エクスポート, 22
　スポット カラー, 37
　ハブ＆スポーク, 22
　ワークフローの基本手順, 18
ワークフローのインポート／エクスポート, 22
ワークフローの手順, 18

www.creo.com | creo™